

平成28年

消防年報



平成29年刊行

福知山市消防本部

はしがき

この年報は、福知山市の消防現勢及び平成28年中の消防行政に関する実態を統計的に集録し、将来の参考に資するとともに、消防事情を広く紹介するため編集したものです。

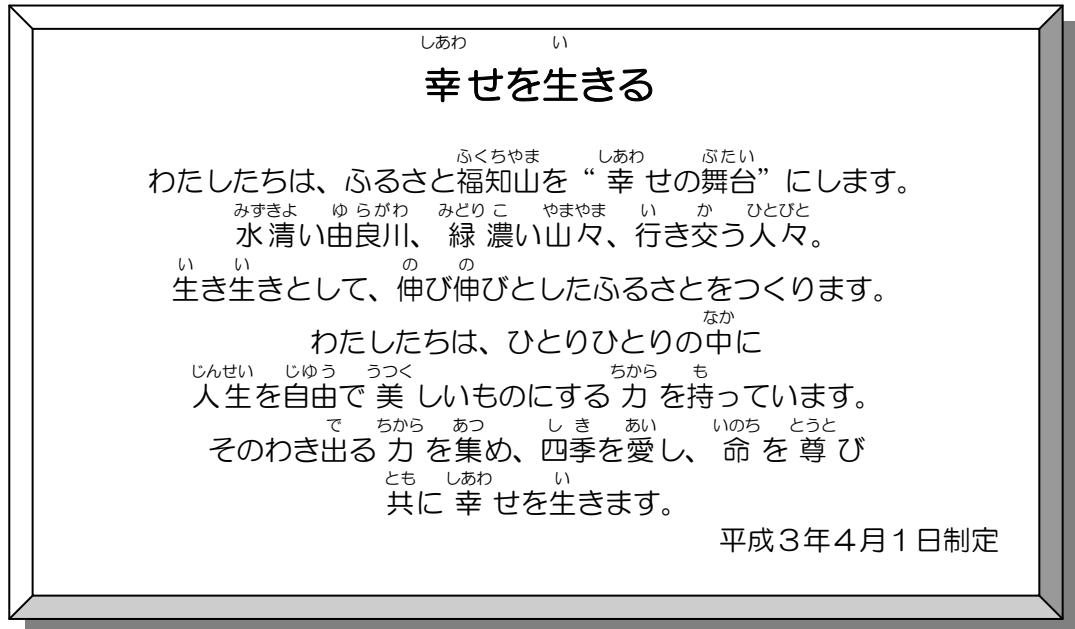
この年報により、本市の消防業務を御理解いただき、なお一層の御指導と御支援をいただきますようお願い申し上げます。

この年報のうち、予算関係は会計年度とし、それ以外のものについては、当該表に記載した年月日によるものです。

平成29年6月

福知山市消防本部

福知山市市民憲章



市民憲章とは

毎日の生活の中で、福知山市民一人ひとりの心のよりどころとなり、行動の礎になるよう定められた市民生活の規範となるものです。

この憲章には、よりよい地域づくり、魅力あるふるさとづくりのため、市民一人ひとりが、互いに助け合い思いやりあるあたたかいまちづくり、文化の香り高い魅力的なまちづくりをすすめる願いがこめられています。

憲章文の解説

“幸せ”とは何か。“わたし”は、どんな時、幸せを感じますか。どうすれば“みんな”が幸せを感じることができるでしょうか。幸せづくりについて考え、語りあい、励ましあって行動する、これがこの憲章文のテーマです。

まず、自分の人生を自由で美しいものにできるわたしから、幸せづくりをはじめましょう。そして、その幸せづくりを身近な人たちと一緒にになって広げましょう。一人ひとりから家族へ、地域へ、そして市全体へ、幸せづくりの輪を広げていきましょう。

そうすることが、みんなが“幸せを感じるまち”につながります。また、“みんなが誇れるまち”につながっていきます。

まずは、わたしから、身近なことから、幸せづくりをはじめましょう。



目 次

総 務

市勢	1
管内の情勢	2
福知山市位置・管内案内図	3
消防機構	4
消防庁舎の概要	4
消防の沿革	5
消防予算	12
消防職員の定員及び現在員数	13
消防職員階級別年齢状況、勤続年数	14
事務分掌	15
消防相互応援協定の締結状況	18

警 防

消防本部・署別消防自動車現勢一覧	19
消防水利の状況	20
救助活動のための機械器具等の保有状況	21

統 計

火災概要	23
累年火災比較（10年間）	24
署・分署別火災発生状況	25
地区別火災発生状況1	26
地区別火災発生状況2	27
月別火災発生状況	28
火災発生状況グラフ	29
曜日・時間別火災発生状況	30
曜日・時間別火災発生状況グラフ	31
気象別火災発生状況	32
火災原因別調べ	33
救急概要	34
署・分署別救急出動状況・搬送人員グラフ	35
月別救急活動状況	36
時間別事故種別搬送人員	37
年齢区分別事故種別搬送人員	38
傷病程度別性別事故種別搬送人員	39
傷病程度別年齢区分搬送人員	39

救急講習実施状況	40
過去10年間における救急出動の推移	41
救助概要	42

予 防

防火対象物の状況	43
建築同意事務署・分署別件数	44
建築同意事務業態別棟別件数	44
消防用設備等検査状況	45
危険物施設の状況	46
危険物申請の状況	47
危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の数	47
手数料徴収状況	47
火災予防条例等各種届出件数	48
立入検査実施状況	48
防火指導状況	49
広報活動状況	49
幼年消防クラブ活動状況	49
福知山市防災センター来館者状況	49

通信指令課

覚知別集計	50
月別指令状況	51
ドクターへリ要請件数	51
消防通信指令施設の現況	52
消防通信指令系統図	53

消 防 団

消防団の沿革	54
消防団員・消防車両配置表	58
年齢別消防団員数	58
在職年数別消防団員数	58

水 防

水防の概要	59
水防組織	62

【總務】

市 勢

【位 置】

由良川流域の福知山盆地にひらける福知山市は、京都府の北西部に位置し、西は兵庫県と接し、丹波・丹後・但馬により形成される「三たん地域」の中央部にあり、面積 552.54 k m²と京都府内では、京都市、南丹市に次いで 3 番目に広大な市域を有しています。

気候条件としては、日本海気候に属し、盆地特有の夏と冬・昼と夜の気温差が激しい気候となっています。

京都市と神戸市から直線で約 60km、大阪市からは約 70km の距離にあり、交通網の発展により京阪神へのアクセスも良好で、比較的日本海にも近い本市は、その地理的条件により、北近畿の交通の結節点となっています。

また、福知山駅および国道沿いに広がる市街地と、その周辺の農山村地域によって構成され、丹後天橋立大江山国定公園の大江山や三岳山などの山々、さらに由良川をはじめその支流である土師川、牧川、宮川などが流れしており、整備された交通・都市基盤の美しい自然を兼ね備えています。

【沿 革】

福知山盆地には、古くは縄文時代から人が住んでいましたが、昭和 61 年広峯古墳群(古墳時代)から盤龍鏡が出土したことにより、古代において、出雲・丹後と畿内との接点に当たる福知山地方が、交通・文化などにおいて重要な位置を占めていたことがうかがえます。地理的には日本海と瀬戸内側を結ぶ中継地点として、歴史的には丹後・山陰と都を結ぶ主要街道の要衝として、山陰道の陸運の要所だけでなく由良川を通じて日本海沿岸ともつながる水運で栄えました。

天正 7 年 (1579) 年、織田信長の命で丹波を平定した明智光秀が福知山城を築き、関ヶ原の合戦後、有馬豊氏が城主となり城下町が整備され、以来、明治 4 年の廃藩置県まで 300 年近い間、江戸期を通じて城下町として繁栄しました。その当時の江戸時代のまち割りが今も残っています。

明治 22 年の町村制施行で福知山町が誕生し、同 31 年には陸軍歩兵第 20 連隊の駐屯が開始される一方、同 32 年大阪、同 43 年京都へとそれぞれ鉄道が開通し、北近畿の交通の要衝として、また“北近畿の商都＝商いのまち”として発展を遂げました。

戦後は、昭和 49 年に内陸工業団地として日本有数の規模を誇る長田野工業団地が完成し、新たな産業発展の基盤を形成するとともに、JR 線や北近畿タンゴ鉄道宮福線の電化、舞鶴若狭自動車道や国道 9 号線土師バイパスの整備、また国道 175 号や国道 176 号など多くの国道が交わり、北近畿の交通の要衝とし機能がより高まっています。

一方、こうした広域交通体系の整備と並行して、昭和 29 年から土地区画整備事業や下水道事業、都市計画道路等の整備を先進的に取組んでおり、特に 21 世紀のまちづくりの核となる福知山駅周辺地域においては、新たな都市地区形成を図るため、駅付近連続立体交差事業や駅周辺土地区画整理事業を進めるなど、北近畿の玄関口として、恵まれた自然環境を生かしながら「北近畿をリードする中核都市」作りを目指し、交通・通信の拠点として積極的に都市基盤の充実を図ってき

ました。

平成 18 年 1 月 1 日に三和町、夜久野町及び大江町と合併、新しい「福知山市」がスタートして 10 年を迎えて次のまちづくりを構想する節目に当たり、恵まれた自然環境を生かしながら「「未来創造福知山」多様性のあふれる高次機能都市」の実現をめざして、北近畿の中核都市としてのまちづくりを進めています。

また、防災面では、『消防機能』の他『市民防災研修機能』『災害対策機能』を併せ持つ消防防災の拠点施設『福知山市消防防災センター』を整備、平成 24 年 5 月 1 日より運用を開始しており、『いのちと暮らしを守るやすらぎのまち』を創るため、過去の災害を忘れず、市民のみなさんとともに災害に強いまちづくりを推進しています。

管内の情勢

(平成 29 年 4 月 1 日現在)

	面積 (k m ²)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
福知山市	552.54	79,049	35,867
消防職員一人あたりの割合 (職員数 129 人)	4.28	612.78	278.04

周囲 (km)	広ぼう (km)		海拔 (m)		市役所の位置	
	東西	南北	最高	最低	東経	北緯
174.2	37.1	34.3	839.17	7.11	135°07'	35°17'

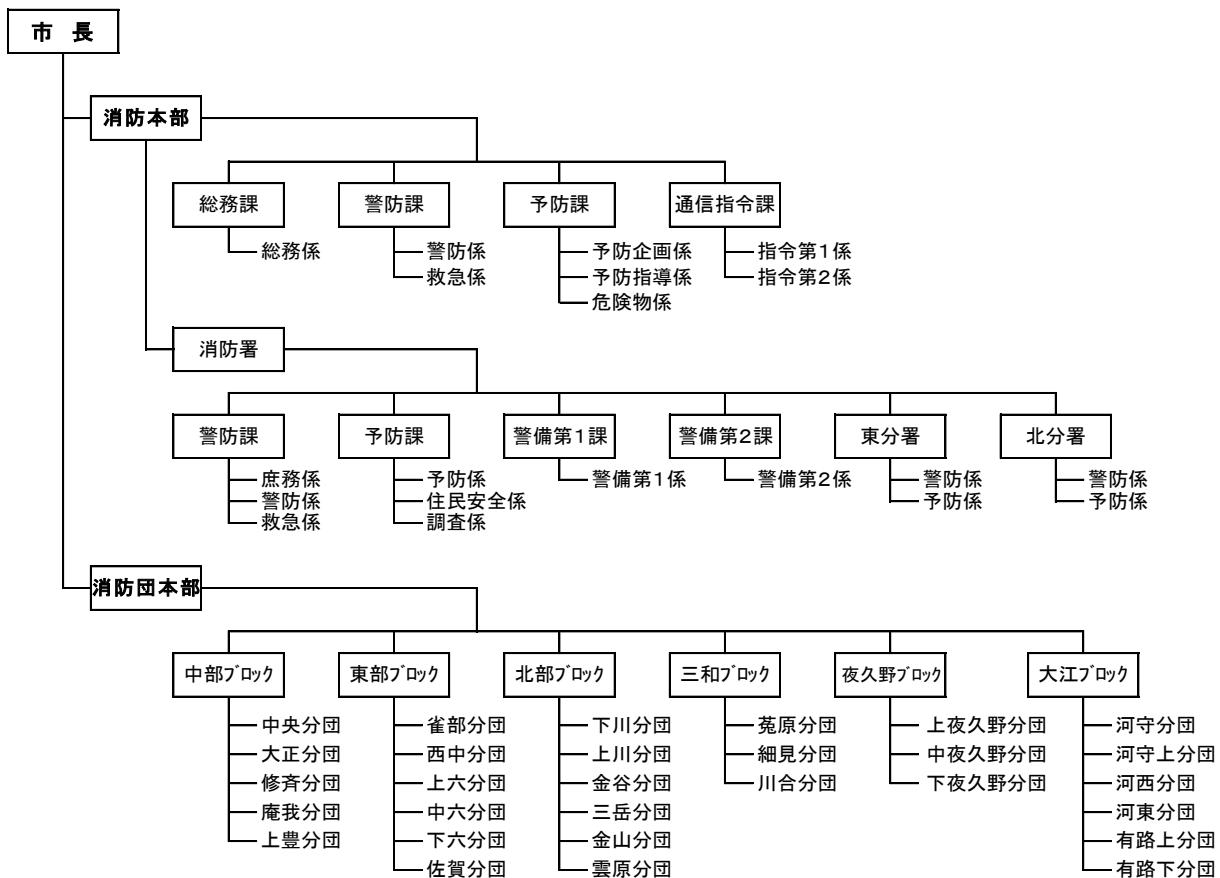
市の木	市の花	市の鳥	キャラクター
ケヤキ	サツキ	ウグイス	ドッコちゃん
カシ	キキョウ	キジ	
ヒノキ	ハギ		
ウメ	レンゲツツジ		酒呑童子
	フジ		

福知山市位置・管内案内図

面 積	5 5 2 . 5 4 k m ²
周 囲	1 7 4 . 2 0 k m
海 抜	8 3 9 . 1 7 m (最高) 7 . 1 1 m (最低)
総人口	7 9 , 0 4 9 人
世帯数	3 5 , 8 6 7 世帯
(人口・世帯数は平成 2 9 年 4 月 1 日現在)	



消防機構



消防庁舎の概要

	所在地	構造等	敷地面積	建築年月	その他
福知山市消防本部	福知山市東羽合町 46-1	庁舎棟 鉄骨造 2階建 延 3,109 m ²	25,149 m ²	H24. 3	消防防災訓練場
福知山消防署		訓練棟他 付属建物 延 1,047 m ²			防災ヘリポート
指令センター					防災広場
防災センター					
福知山消防署 東分署	福知山市長田野町 三丁目 12-2	鉄筋コンクリート造 2階建 延 772.82 m ²	25,235 m ²	S56. 9	訓練場
福知山消防署 北分署	福知山市宇牧 471-1	鉄筋コンクリート造 2階建 延 473.52 m ²	1,710 m ²	S56. 9	訓練場

消防の沿革

(平成 29 年 4 月 1 日)

○昭和 23 年 1 月 6 日	中ノ町に福知山市消防団常置消防部を設ける ポンプ車 2 台 定員 15 名 職員 4 名増員 実員 19 名
" 7 月 4 日	
○昭和 24 年 5 月 31 日	職員 6 名増員 実員 25 名 福知山市消防本部を設置し、庶務・予防・消防の 3 係を置く 2,000ℓ水槽付ポンプ車を購入配置
" 8 月 18 日	
" 12 月 15 日	
○昭和 25 年 8 月 19 日	小牧大火 集落の 3 分の 1、16 戸全焼 (2,300 m ²)、損害額 12,437 千円 指令車 (トヨタクラウン) を購入配置 1,500ℓ水槽付ポンプ車を購入配置 タンク車 2 台、普通ポンプ車 1 台
" 11 月 23 日	
" 12 月 20 日	
○昭和 26 年 4 月 11 日	職員 7 名増員 実員 32 名
○昭和 28 年 9 月 25 日	台風 13 号襲来 由良川水位 8.1m に達し市街地全域が水没し、死者 4 名、重軽傷者 788 名、家屋の流失 55 戸、家屋の全壊 428 戸、半壊 1,181 戸、床上浸水 3,641 戸 (内 2 階浸水 3,202 戸)、床下浸水 195 戸、その他被害総額 6,649,424 千円
○昭和 29 年 4 月 1 日	職員 2 名増員 実員 34 名
○昭和 30 年 1 月 1 日	消防本部に消防署を併設 1 署 3 係
" 4 月 1 日	上六人部、中六人部、下六人部、上川、金谷、三岳、金山、雲原の 8 ヶ村合併により、面積 254.93k m ² 、人口約 61,000 人
○昭和 31 年 3 月 31 日	ジープ型ポンプ車を購入配置 国消 FM-1 型無線を配置
" 9 月 30 日	佐賀村分村合併により、面積 264.24k m ² 、人口 63,220 人
○昭和 34 年 9 月 26 日	伊勢湾台風 由良川水位 7.1m に達し、重軽傷者 26 名、家屋の流失 4 戸、全壊 6 戸、半壊 103 戸、床上浸水 3,473 戸、床下浸水 1,644 戸、その他被害総額 1,164,566 千円
○昭和 35 年 3 月 5 日	普通ポンプ車を購入配置 (更新)
○昭和 36 年 9 月 16 日	第二室戸台風 瞬間最大風速 43m を記録し、死者 3 名、重軽傷者 6 名を出し、家屋の全壊 9 戸、半壊 67 戸、その他被害総額 162,482 千円
○昭和 37 年 5 月 8 日	内記五丁目大火 全焼 12 戸、半焼 3 戸、部分焼 6 戸、農機工場より出火、焼失面積 2,393 m ² 、損害額 23,911 千円
" 8 月 1 日	技術吏員 1 名増員し、危険物規制事務開始 実員 35 名
" 11 月 20 日	福知山市字天田小字中長戸 76 番地に、鉄筋コンクリート 2 階建庁舎を建設し業務を開始
" 12 月 20 日	日本損害保険協会よりポンプ車の寄贈を受ける
○昭和 40 年 3 月 31 日	小牧大火 全焼 7 戸、部分焼 2 戸、焼失面積 782 m ² 、損害額 8,732 千円
○昭和 42 年 12 月 4 日	消防法の改正に基づき、救急業務を開始 (救急車を購入配置) 職員 4 名増員 実員 39 名
○昭和 45 年 3 月 4 日	大槻内科医院より自動二輪車 4 台寄贈を受ける
" 4 月 1 日	職員 1 名増員 実員 40 名

○昭和 45 年 11 月 13 日	大型ポンプ車を購入配置（更新）
○昭和 46 年 4 月 1 日	職員 3 名採用 実員 40 名
○昭和 47 年 3 月 15 日	日本自動車工業会より大型救急車の寄贈を受ける
○昭和 48 年 10 月 1 日 " 12 月 13 日	職員 3 名増員 実員 43 名 新町大火 全焼 13 戸、半焼 2 戸、部分焼 8 戸、り災世帯 10 世帯、り災人員 43 名、 焼失面積 1,929 m ² 、損害額 60,708 千円 消防ポンプ自動車（B D - I 型）を購入配置（更新）
○昭和 49 年 2 月 13 日 " 4 月 1 日 " 5 月 10 日 " 5 月 23 日 " 7 月 1 日	内記六丁目大火 全焼 6 戸、半焼 1 戸、部分焼 1 戸、り災世帯 8 世帯、り災人員 35 名、死者 1 名、負傷者 2 名、焼失面積 730 m ² 、損害額 28,130 千円 消防職員 7 名増員 実員 50 名 日本損害保険協会よりタンク車の寄贈を受ける 指令車（トヨタクラウン）を購入配置（更新） 本部機構改革、2 課 5 係
○昭和 50 年 2 月 27 日 " 4 月 1 日	化学車（III型）を購入配置 消防ポンプ自動車（B D - I 型）を購入配置（更新） 消防職員 4 名増員 実員 54 名
○昭和 51 年 2 月 6 日 " 5 月 13 日 " 6 月 14 日 " 7 月 1 日	農協共済より救急車（2B）の寄贈を受ける 内記四丁目大火 全焼 7 戸、部分焼 3 戸、り災世帯 7 世帯、り災人員 20 名、焼失面 積 1,267 m ² 、損害額 19,793 千円 消防本部、団本部を新市庁舎へ移す 消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 55 名
○昭和 52 年 4 月 1 日 " 7 月 19 日	消防職員 1 名増員 実員 56 名 指揮車（ニッサンセドリックバン）を購入配置
○昭和 53 年 4 月 1 日 " 10 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 56 名 消防職員 2 名増員 実員 58 名
○昭和 54 年 3 月 26 日 " 3 月 31 日 " 8 月 1 日	原動機付自転車 2 台を購入配置 福知山消防署庁舎改修 林野火災用小型ポンプを購入配置
○昭和 55 年 1 月 23 日 " 3 月 11 日 " 8 月 1 日	普通消防ポンプ自動車（B D - I 型）を購入配置 日本損害保険協会より救急自動車（3B）の寄贈を受ける 消防職員 3 名採用 実員 58 名
○昭和 56 年 1 月 23 日 " 3 月 9 日 " 3 月 31 日 " 4 月 1 日 " 9 月 11 日	一市三町広域消防調印式挙行 普通消防ポンプ自動車（C D - I 型）を購入配置（更新） 救急車を購入配置する 一市三町広域消防体制発足（事務委託方式） 消防職員 21 名増員 実員 79 名 福知山市長田野町三丁目 12 番地の 2 福知山消防署東分署庁舎完成 (R C 造 2 階建延床面積 772.82 m ²)
" 9 月 21 日 " 9 月 24 日	福知山市字牧 471 番地の 1 福知山消防署北分署庁舎完成 (R C 造 2 階建延床面積 419.81 m ²) 日本消防協会より救急車・広報車の寄贈を受け、北分署に配置 普通消防ポンプ自動車（B D - I 型）を 2 台購入、2 分署に配置

○昭和 56 年 9 月 30 日	広報車を購入し、東分署に配置
〃 10 月 1 日	2 分署開設し、業務開始（分署長以下 13 名 × 2 分署）
〃 11 月 20 日	消防ポンプ自動車（B D - I 型）を購入配置（更新）
〃 12 月 1 日	福知山ライオンズクラブから事務連絡車（スズキアルト）の寄贈を受ける
○昭和 57 年 3 月 24 日	日本損害保険協会より救急車の寄贈を受け、東分署に配置
〃 4 月 1 日	消防職員 4 名増員 実員 83 名
〃 12 月 11 日	はしご付消防ポンプ自動車（24m 級）を購入し消防署に配置
○昭和 58 年 3 月 31 日	小型動力ポンプ（C - 1 級）を購入し、2 分署に配置
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名増員 実員 85 名
〃 9 月 26 日	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車（B D - I 型）の寄贈を受ける
〃 9 月 29 日	消防ポンプ自動車（B D - I 型）を購入配置（更新）
○昭和 59 年 3 月 30 日	救助工作車を購入し、消防署に配置
〃 3 月 31 日	指令車（ニッサンセドリック）、救急車（2B型）を購入配置（更新）
〃 8 月 31 日	隣接 5 消防組合と消防相互応援協定を締結
○昭和 60 年 4 月 1 日	本部機構改正、3 係を置く
	消防職員 4 名採用 実員 85 名
○昭和 61 年 3 月 4 日	水槽付消防ポンプ自動車（水 - II 型 A 級）を購入し、消防署に配置（更新）
〃 3 月 5 日	消防庁長官表彰旗受賞
○昭和 62 年 1 月 17 日	日本自動車工業会より救急車（2B型・4WD）の寄贈を受ける
〃 3 月 18 日	舞鶴自動車道、消防救急業務体制発足
〃 4 月 1 日	消防職員 5 名増員 実員 90 名
○昭和 63 年 4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 91 名
〃 5 月 24 日	2 時 36 分 西中ノ町建物火災、3 時 50 分 駅前町建物火災（道草横町）、両火災で全焼 2 戸、半焼 5 戸、部分焼 3 戸、り災世帯 8 世帯、り災人員 23 名、焼失面積 709 m ² 、損害額 47,302 千円
〃 10 月 5 日	消防指揮車を購入し、消防署に配置（更新）
○平成元年 12 月 4 日	消防ポンプ自動車（C D - I 型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新）
	日本防火協会より広報車（ニッサンキャラバン）の寄贈を受ける
○平成 2 年 3 月 31 日	日本自動車工業会より救急車（2B型・4WD）の寄贈を受ける
〃 4 月 1 日	消防職員 1 名採用 実員 91 名
〃 5 月 1 日	消防職員 1 名増員 実員 92 名
○平成 3 年 4 月 1 日	消防職員 4 名採用 実員 92 名
〃 6 月 25 日	J R 福知山線「岡踏切」列車事故
〃 8 月 20 日	重症者 3 名、中等症者 16 名、軽症者 290 名 京都信用金庫より救急車（2B型・4WD）の寄贈を受ける
○平成 4 年 2 月 5 日	水槽付消防ポンプ自動車（水 - II 型 A 級）を購入し、東分署に配置
〃 4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 93 名
〃 10 月 16 日	福知山危険物安全協会より連絡車（三菱ミニカ）の寄贈を受ける
〃 11 月 25 日	消防ポンプ自動車（C D - I 型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 5 年 1 月 30 日	広報車（ニッサンセレナ）を購入し、北分署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 3 名採用（内 1 名増員） 実員 94 名

平成 5年 4月 26日	国際ソロプロチミスト福知山より救急車（2B型）の寄贈を受ける
〃 7月 1日	職員定員 104名とする 鳥ヶ岳山頂消防無線基地局運用開始
〃 9月 1日	消防職員 4名増員 実員 98名
〃 9月 17日	日本損害保険協会より化学車（II型）の寄贈を受ける
〃 9月 30日	広報車（トヨタマークII）を購入し、東分署に配置（更新）
〃 11月 11日	消防ポンプ自動車（CD-I型・4WD）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 6年 4月 1日	消防職員 3名採用（内 1名増員） 実員 99名
〃 5月 18日	救急救命士 1名資格取得
○平成 7年 1月 18日	兵庫県南部地震による応援出動（～26日）
〃 1月 23日	指令車（トヨタクラウン）を購入し、消防本部に配置（更新）
〃 2月 14日	消防団員に対する応急手当普及員講習開講
〃 4月 1日	消防職員 3名採用（内 2名増員） 実員 101名
〃 5月 12日	救急救命士 1名資格取得 救急救命士 計 2名
○平成 8年 1月 22日	消防ポンプ自動車（CD-I型）を購入し、東分署に配置（更新）
〃 3月 11日	高規格救急車を購入し、消防署に配置（高度救急業務運用開始）
〃 4月 1日	消防職員 1名採用 実員 101名 本部・署機構改正 本部 2係・署 2課 1室 6係となる
〃 4月 30日	査察車（トヨタカリブ）寄贈を受ける
〃 5月 17日	救急救命士 1名資格取得 救急救命士 計 3名
〃 11月 14日	消防署通信指令室併用福知山市防災センター増築工事着手
〃 12月 3日	救急救命士 1名資格取得 救急救命士 計 4名
○平成 9年 4月 1日	消防職員 3名採用 実員 102名
〃 5月 19日	救急救命士 1名資格取得 救急救命士 計 5名
〃 5月 26日	救急救命士 1名資格取得 救急救命士 計 6名
〃 10月 12日	自治体消防制度 50周年、市制施行 60周年記念行事（消防フェア福知山）開催
〃 12月 22日	救急救命士 1名資格取得 救急救命士 計 7名
〃 12月 28日	高規格救急車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置
○平成 10年 3月 3日	福知山市防災センター竣工
〃 4月 1日	消防緊急通信指令施設（I型）運用開始
	消防無線第2市波運用開始
〃 5月 25日	携帯電話からの 119 番通報受信体制整備（代表受信消防本部）
〃 8月 27日	救急救命士 1名資格取得 救急救命士 計 8名
〃 11月 26日	北分署改修工事着手
	救急救命士 1名資格取得 救急救命士 計 9名
○平成 11年 4月 1日	消防職員 3名採用 実員 102名
〃 5月 14日	本部・署機構改正 本部 2係・署 2課 1室 2分署 12係となる
〃 7月 1日	救急救命士 1名資格取得 救急救命士 計 10名
〃 12月 8日	高規格救急車（ニッサンパラメディック）を購入し、北分署に配置
	救急救命士 1名資格取得 救急救命士 計 11名
○平成 12年 3月 7日	消防広報誌「火の用心」創刊
〃 4月 1日	消防職員 2名採用 実員 102名
〃 5月 16日	救急救命士 1名資格取得 救急救命士 計 12名
○平成 13年 1月 22日	福知山市消防本部・福知山市消防団「ホームページ」を開設
〃 3月 1日	福知山市消防出初式「写真コンテスト」を始める

○平成 13 年 3 月 22 日	消防資材搬送車（トヨタタウンエース）寄贈を受ける
〃 3 月 23 日	救助工作車を購入し、消防署に配置（更新）
〃 11 月 20 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 13 名
○平成 14 年 2 月 28 日	水槽付消防ポンプ自動車（水 I-A 型）を購入し、消防署に配置（更新）
〃 12 月 16 日	はしご付消防ポンプ自動車（30m 級水路付）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 15 年 4 月 1 日	消防職員 2 名（内 1 名救急救命士資格取得者）採用 実員 102 名
〃 12 月 1 日	救急救命士 計 14 名 消防ポンプ自動車（CD-I 型）を購入し、消防署に配置（更新）
○平成 16 年 2 月 23 日	第 1 回自主防火・防災リーダー養成講座実施
〃 4 月 1 日	消防職員 1 名採用 実員 102 名 予防課に住民安全係を設置。本部 2 係、署 2 課 1 室 2 分署 13 係となる
〃 4 月 2 日	指揮隊車（ニッサンキャラバン）寄贈を受ける
〃 5 月 12 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 15 名
〃 9 月 11 日	「救急フェア」開催
〃 10 月 20 日	「台風 23 号災害」半壊・一部損壊 63 戸、浸水家屋 844 戸
～21 日	被害額 4,421,498 千円。由良川水位 7.55m に達する
〃 11 月 13 日	I P 電話（ケイオプティコム）からの 119 番通報受信開始
〃 11 月 26 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 16 名
○平成 17 年 2 月 14 日	I P 電話（日本テレコム）からの 119 番通報受信開始
〃 3 月 29 日	高規格救急自動車（ニッサンパラメディック）を購入し東分署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名採用 実員 102 名
〃 5 月 12 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 17 名
〃 6 月 11 日	消防団緊急伝達システム 運用開始
〃 8 月 29 日	I P 電話（平成電電）からの 119 番通報受信開始
〃 10 月 1 日	I P 電話（KDDI）からの 119 番通報受信開始
○平成 18 年 1 月 1 日	福知山市と三和町、夜久野町及び大江町が合併。広域受託消防体制を解消
〃 1 月 10 日	I P 電話（NTT 西日本）からの 119 番通報受信開始
〃 2 月 2 日	携帯電話 119 番通報 直接受信開始
〃 4 月 1 日	消防職員 3 名採用 実員 104 名
〃 10 月 29 日	第 1 回自主防火・防災リーダー中級講座実施
〃 12 月 21 日	I P 電話（平成電電）からの 119 番通報受信終了
○平成 19 年 2 月 1 日	消防ポンプ自動車（水槽付 CD-I 型）を購入し、北分署に配置
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名採用 実員 103 名
〃 4 月 1 日	予防技術資格者認定制度開始
〃 10 月 1 日	携帯電話・IP 電話発信位置表示通知システム導入
〃 10 月 14 日	市制施行 70 周年、福知山市消防団発足 60 周年及び救急業務運用開始 40 周年記念事業（消防防災フェア）開催
○平成 20 年 4 月 1 日	消防職員 5 名採用 実員 104 名
〃 9 月 3 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 18 名
〃 11 月 8 日	住宅用火災警報器普及啓発キャラクター「予防戦士 ジューケイキマン」誕生
○平成 21 年 3 月 23 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し消防署に配置（更新）
〃 4 月 1 日	消防職員 2 名採用 実員 104 名
〃 4 月 22 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 19 名
〃 4 月 24 日	救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 20 名

○平成 22 年 4 月 1 日	消防職員定数 130 名とする 消防職員 12 名採用 実員 110 名 救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 21 名 公立豊岡病院ドクターへリ運航開始 救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 22 名 消防ポンプ自動車（CD-1型）を購入し、東分署に配置（更新） 高規格救急自動車（トヨタハイメディック）の寄贈を受ける
○平成 23 年 3 月 1 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、東分署に配置（更新） 東日本大震災発生に伴い、緊急消防援助隊として出動（～4 月 2 日） 消防職員 8 名採用 実員 114 名 北分署機構改正。増員（分署長以下 22 名）、および昨年度寄贈の高規格救急自動車を配置し、救急 2 隊運用を開始する
○平成 24 年 3 月 29 日	福知山市東羽合町 46 番地の 1 に、鉄骨造 2 階建庁舎「福知山市消防防災センター」竣工 「福知山市防災広場」竣工 消防職員 6 名採用（内 1 名救急救命士資格取得者） 実員 117 名 救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 25 名 消防緊急通信指令施設を「高機能消防指令システム」に更新、運用開始 消防本部・消防署・消防団本部を福知山市東羽合町 46 番地の 1 「福知山市消防防災センター」に移す 「福知山市消防防災センター」及び「福知山市防災広場」の運用開始
○平成 25 年 1 月 17 日	消防防災センター来館者が 1 万人に達する 総務省消防庁より緊急消防援助隊後方支援隊用車両として機動装備車の無償貸与を受ける 下紺屋町建物火災、全焼 6 棟、部分焼 6 棟、ぼや 1 棟、り災人員 20 名、焼失面積 802 m ²
〃 3 月 6 日	消防職員 10 名採用（内 6 名増員） 実員 123 名 救急救命士 実員 24 名
〃 2 月 14 日	消防職員 1 名を京都府立消防学校教官として派遣する（2 年間） 福知山花火大会会場で火災事故発生 死者 3 名 負傷者 56 名
〃 4 月 1 日	「台風 18 号災害」全壊 2 棟、半壊 311 棟、床下浸水 356 棟、大規模半壊 19 棟、一部損壊・床上浸水 423 棟、由良川水位 8.3m に達する 京都府立消防学校北部訓練拠点開設式
〃 8 月 15 日	京都府北部地域消防団員等の訓練拠点として消防防災センターの供用を開始
〃 9 月 15 日	
〃 10 月 24 日	
○平成 26 年 4 月 1 日	消防職員 5 名採用（内 1 名増員） 実員 124 名 救急救命士 実員 25 名 消防署に指揮隊車を配置し、24 時間常駐の指揮隊の運用を開始する 消防救急デジタル無線運用開始 「8 月豪雨災害」16 日～17 日にかけて降り続いた観測史上最大の雨による内水被害の発生 4,500 棟が浸水
○平成 27 年 1 月 29 日	消防団簡易デジタル無線整備 水槽付消防ポンプ自動車（1-A 型）を購入し、消防署に配置（更新）
〃 3 月 27 日	消防職員 8 名採用（内 1 名増員） 実員 125 名 救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 26 名
〃 4 月 1 日	消防本部機構改革 本部 4 課 8 係、署 4 課 2 分署 13 係となる
〃 4 月 13 日	e ラーニング方式による救急講習を開始
〃 7 月 14 日	福知山市救急まちかど安心ステーション開設
〃 9 月 9 日	

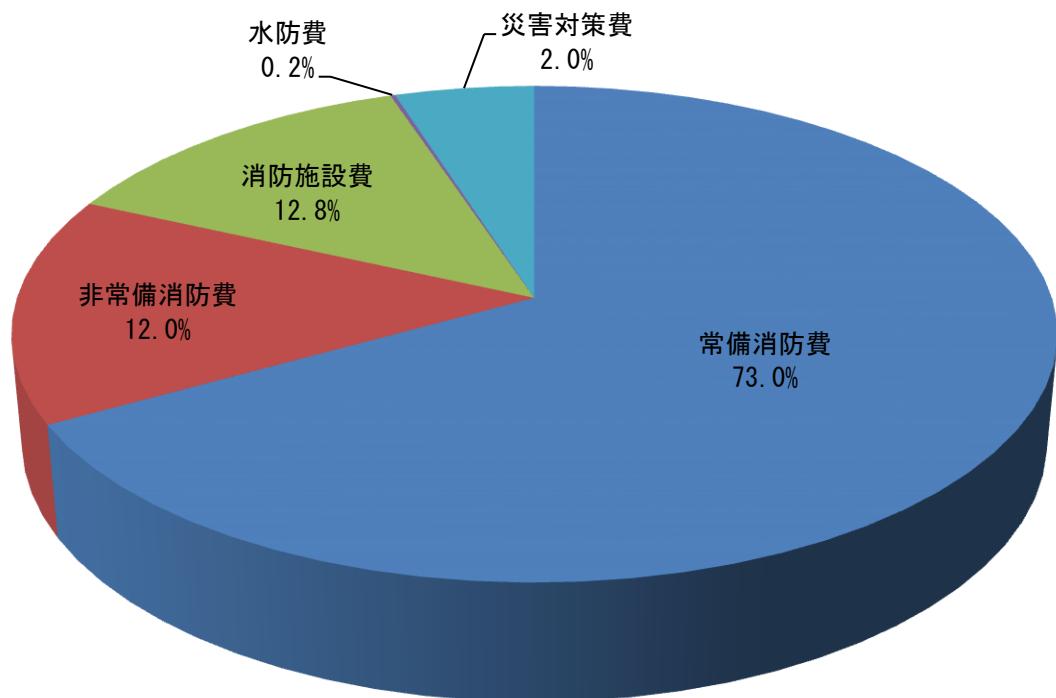
○平成 28 年 1 月 18 日 " 3 月 25 日 " 4 月 1 日	高規格救急自動車（トヨタハイメディック）を購入し、消防署に配置（更新） 指令車（トヨタノア）を購入し、消防本部に配置（更新） 消防職員 6 名採用（内 1 名増員、内 1 名救急救命士資格取得者） 実員 126 名 救急救命士 実員 26 名 消防署機構改革 4 課 2 分署 12 係となる 救急救命士 1 名資格取得 救急救命士 計 27 名 熊本地震発生に伴い、緊急消防援助隊として出動（～4 月 22 日） 消防防災センターオープン 5 周年「ふくちやま消防防災フェア」開催
○平成 29 年 3 月 29 日 " 4 月 1 日	消防防災センター来館者が 5 万人に達する 消防職員 6 名採用（内 4 名増員） 実員 129 名

消防予算（当初予算）

1 一般会計と消防予算

予 算 額 (千円)				
年 度		平成 2 9 年度	平成 2 8 年度	平成 2 7 年度
一般会計予算		39,480,000	41,250,000	41,250,000
消防費予算		1,443,366	1,577,544	1,427,732
比		3.7%	3.8%	3.5%
内訳	常備消防費	1,053,855	1,055,768	1,008,107
	非常備消防費	173,193	233,557	173,271
	消防施設費	184,990	207,301	182,054
	水防費	2,609	2,593	2,501
	災害対策費	28,719	78,325	61,799

2 平成 2 9 年度 消防予算の内訳



消防職員の定員及び現在員数

(平成29年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
定員	条例定数							130	
実員	1	3	21	24	34	2	43	1	129

消防職員の配置表

(平成29年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
合計	1	3	21	24	34	2	43	1	129
消防本部	消防長	1							1
	課長		1						1
	総務係			2			2	1	5
	課長			1					1
	課長補佐			1					1
	警防係				1	1			2
	救急係			1		1			2
	課長			1					1
	課長補佐			1					1
	予防企画係				1		2		3
消防署	予防指導係			1			1		2
	危険物係				2	1			3
	次長兼課長		1						1
	指令第1係			1	1	1	1		4
	指令第2係				1	2	1		4
	次長兼署長		1						1
	課長			1					1
	庶務係			1		2	1		4
	警防係				1	4	2		7
	救急係				2	3	1	1	7
東分署	課長			1					1
	課長補佐			(1)					0
	予防係				1	2	5		8
	住民安全係				1	2	4		7
	調査係			1	1	2			4
	警備第1課			2(1)	(5)	(8)	(9)		2(43)
	警備第2課			2(2)	(4)	(10)	(6)		2(42)
	分署長			1					1
	警備第1係			1	(2)	(3)	(5)		1(10)
	警備第2係			1	(1)	(4)	(1)	(4)	1(10)
北分署	警防係				2	1	1	6	10
	予防係				2	6		3	11
	分署長			1					1
	警備第1係			1	(2)	(3)	(5)		1(10)
	警備第2係				1(2)	(4)	(4)		1(10)
初任教育入校	警防係				1	4	5		10
	予防係				3	3	4		10
	初任教育入校						6		6

※()は、兼務人数を表す。

消防職員階級別年齢状況

(平成29年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
20才未満							4		4
20才以上 24才以下							19		19
25才以上 29才以下					7		12		19
30才以上 34才以下					17	2	3		22
35才以上 39才以下					7		4	1	12
40才以上 44才以下				15	2		1		18
45才以上 49才以下			2	6	1				9
50才以上 54才以下		1	7	2					10
55才以上	1	2	12	1					16
合計	1	3	21	24	34	2	43	1	129
平均年齢	58.00	56.00	54.52	45.13	33.20	33.50	25.53	38.00	37.10

消防職員階級別勤続年数

(平成29年4月1日)

	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の消防職員	合計
5年未満					1	1	34	1	37
5年以上 10年未満					20		8		28
10年以上 15年未満					8	1			9
15年以上 20年未満				2	3				5
20年以上 25年未満				11	2		1		14
25年以上 30年未満			3	8					11
30年以上	1	3	18	3					25
合計	1	3	21	24	34	2	43	1	129
平均勤続年数	36.00	36.00	33.14	24.16	10.05	8.00	3.30	0.00	14.88

事務分掌

【消防本部事務分担表】

総務課

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関すること。
- 2 職員の任免、服務、表彰、分限、懲戒その他人事に関すること。
- 3 職員の給与に関すること。
- 4 職員の福利厚生及び安全衛生に関すること。
- 5 消防職員委員会に関すること。
- 6 職員の公務災害補償に関すること。
- 7 消防団に関すること。
- 8 消防長会及び他都市等との調整に関すること。
- 9 福知山市事務分掌条例施行規則第4条第2項に規定する部の管理主管課の共通事務に関すること。

警防課

- 1 文書の收受発送に関すること。
- 2 警防施策の立案及び調整に関すること。
- 3 警防に関する条例、規則、規程その他法規に関すること。
- 4 警防行政の広報に関すること。
- 5 消防施設整備事業の計画及び実施に関すること。
- 6 応援協定及び緊急消防援助隊に関すること。
- 7 水防計画に関すること。
- 8 救急搬送証明書の交付に関すること。
- 9 その他警防業務に関すること。

予防課

- 1 文書の收受発送に関すること。
- 2 予防施策の立案及び調整に関すること。
- 3 予防に関する条例、規則、規程その他法規に関すること。
- 4 予防行政の広報に関すること。
- 5 自主防災組織等に関すること。
- 6 防火・防災管理者に関すること。
- 7 予防査察及び防火指導に関すること。
- 8 消防用設備等の設置及び維持管理指導に関すること。
- 9 建築物の確認同意事務に関すること。
- 10 危険物製造所等の許認可に関すること。
- 11 危険物及び指定可燃物の規制に関すること。
- 12 危険物保安監督者等の指導に関すること。
- 13 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関すること。
- 14 災害証明書の交付に関すること。
- 15 その他予防業務に関すること。

通信指令課

- 1 文書の收受発送に関すること。
- 2 災害通報の受付及び指令管制業務に関すること。
- 3 消防通信の運用に関すること。
- 4 気象情報及び災害情報に関すること。
- 5 災害発生時の関係機関との連絡調整に関すること。
- 6 消防指令施設及び消防通信施設の保全管理及び技術指導に関すること。
- 7 消防隊等の出動計画に関すること。

- 8 非常招集に関すること。
- 9 消防通信の高度化に関すること。
- 10 消防統計に関すること。
- 11 その他通信指令業務に関すること。

【消防署事務分担表】

警防課

- 1 公印の管守及び文書の收受発送に関すること。
- 2 消防署員の福利厚生及び安全衛生に関すること。
- 3 福知山市消防防災センターの庁舎管理に関すること。
- 4 消防署員の教養訓練に関すること。
- 5 警防計画の策定及び対策に関すること。
- 6 消防機械器具の保守管理に関すること。
- 7 消防地理水利に関すること。
- 8 応援協定及び緊急消防援助隊の運用に関すること。
- 9 消防団の指導に関すること。
- 10 火災・救急・救助業務に関すること。
- 11 消防署の他の課の主管に属さないこと。

予防課

- 1 文書の收受発送に関すること。
- 2 火災予防対策に関すること。
- 3 防火・防災管理者に関すること。
- 4 予防査察及び防火指導に関すること。
- 5 予防広報に関すること。
- 6 災害時要配慮者に対する防火指導に関すること。
- 7 消防用設備等の設置及び維持管理指導に関すること。
- 8 建築物の確認同意事務に関すること。
- 9 危険物及び指定可燃物の規制に関すること。
- 10 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関すること。
- 11 自主防災組織等の育成に関すること。
- 12 消防関係団体に関すること。
- 13 火災統計に関すること。
- 14 福知山市防災センターの運営・管理に関すること。

警備第1課、警備第2課

- 1 災害活動に関すること。
- 2 現場指揮に関すること。
- 3 警防訓練に関すること。
- 4 警防計画に関すること。
- 5 事業所等の警防・防火指導に関すること。
- 6 火災調査に関すること。
- 7 水難救助に関すること。
- 8 その他消防署長が必要と認めること。

分 署

- 1 文書の收受発送に関すること。
- 2 分署員の福利厚生及び安全衛生に関すること。

- 3 分署員の教養訓練に関すること。
- 4 庁舎管理に関すること。
- 5 消防機械器具の保守管理に関すること。
- 6 消防地理水利に関すること。
- 7 火災調査に関すること。
- 8 事業所等の警防・防火指導に関すること。
- 9 警備計画の策定及び対策に関すること。
- 10 火災・救急・救助業務に関すること。
- 11 消防団の指導に関すること。
- 12 火災予防対策に関すること。
- 13 予防査察及び防火指導に関すること。
- 14 防火・防災管理者に関すること。
- 15 予防広報に関すること。
- 16 災害時要配慮者に対する防火指導に関すること。
- 17 消防用設備等の設置及び維持管理指導に関すること。
- 18 建築物の確認同意事務に関すること。
- 19 危険物及び指定可燃物の規制に関すること。
- 20 ガス、火薬等特殊物質の防火指導に関すること。
- 21 自主防災組織等の育成に関すること。
- 22 その他分署長が必要と認めること。

消防相互応援協定の締結状況

(平成 29 年 4 月 1 日)

協定名	協定市町名	協定年月日	協定事項
両丹都市 消防相互応援協定	舞鶴市 綾部市 宮津市 京丹後市 伊根町 与謝野町 宮津与謝消防組合	平成 21 年 2 月 1 日	市域間における 消防・救急業務
消防相互応援 に関する協定	京都中部広域 消防組合	平成 20 年 4 月 1 日	常備消防 における 消防・救急業務
"	豊岡市	平成 18 年 1 月 1 日	市域間における 消防・救急業務
"	南但広域 行政事務組合	平成 25 年 4 月 1 日	"
"	丹波市	平成 19 年 1 月 1 日	"
"	篠山市	平成 11 年 4 月 26 日	"
京都府広域 消防相互応援協定	京都府 26 市町村 ・ 4 消防組合	平成 19 年 3 月 12 日	大規模災害 及び 特殊災害等
舞鶴若狭自動車道 における 消防相互応援協定	敦賀美方消防組合 若狭消防組合 舞鶴市 綾部市 丹波市 篠山市 三田市 三木市 神戸市	平成 27 年 2 月 18 日	高速道路 における 火災・救急及び 救助業務

【警 防】

消防本部・署別自動車現勢一覧

(平成29年4月1日)

所属	名 称	種 別	車名・型式	登録年月日	定員	備 考
本部	指令車	指令車	トヨタ DBA-ZRR85G	H28.3.25	8	
消 防 署	ポンプ1号車	ポンプ車	三菱 KK-FG72EC	H15.11.26	5	CD-I型
	ポンプ2号車	ポンプ車	いすゞ U-NKS58GR改	H5.11.11	6	CD-I型
	ポンプ5号車	ポンプ車	三菱 KC-FG538D	H8.1.19	6	CD-I型
	救助工作車	救助工作車	日野 KK-GX1JGDA改	H13.2.21	6	
	タンク1号車	水槽付ポンプ車	日野 SDG-GX7JGAA改	H27.3.5	6	水I-A型 圧縮空気消火装置付き
	梯子車	梯子付ポンプ車	日野 KL-PR4FPHF	H14.12.12	6	30m級
	救急1号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H28.1.18	7	高規格
	救急2号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H21.3.10	7	高規格
	指揮隊車	指揮隊車	トヨタ CBF-TRH216k	H26.3.24	5	
	広報車	広報車	スズキ CBA-MH21S	H16.7.30	4	
	連絡車	連絡車	ダイハツ E-L510S	H10.5.23	4	
	査察車	査察車	トヨタ E-AE114G	H8.4.30	5	
	支援車	支援車	ニッサン T-VAJC23改	H5.1.25	5	
	救援車	救援車	トヨタ CBA-TRH214W	H16.12.16	10	
	防火指導車	防火指導車	ホンダ DBA-JF2	H24.9.14	4	
東 分 署	機動装備車	機動装備車	三菱 TKG-FGB70	H25.2.21	3	
	資材搬送車	資材搬送車	スズキ M-DB51T改	H3.2.27	4	
	ポンプ3号車	ポンプ車	日野 BDG-XZH378M	H22.5.24	7	CD-I型
	タンク2号車	水槽付ポンプ車	日野 KK-FD1JEDA改	H14.2.20	7	水I-A型
	化学車	化学ポンプ車	ニッサン U-CM87EE改	H5.9.17	7	II型
	救急3号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H23.2.17	7	高規格
	救急5号車	救急車	ニッサン TC-FPWGE50改	H17.3.25	6	高規格
北 分 署	東指揮広報車	広報車	ニッサン LC-VPE25	H16.3.23	9	
	東資材搬送車	資材搬送車	トヨタ KF-CM85	H13.3.19	3	
	ポンプ4号車	ポンプ車	日野 BDG-XZU378M	H19.1.25	5	CD-I型
	救急4号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H22.4.27	7	高規格
	救急6号車	救急車	トヨタ CBF-TRH226S	H22.10.6	7	高規格
	北指揮広報車	広報車	ニッサン UA-NT30	H17.11.18	5	
	北資材搬送車	資材搬送車	トヨタ T-YH81改	H5.9.1	8	

消防水利の状況

(平成29年4月1日)

	防火水槽				プール	消火栓			
	平成28年度		40立米以上現有	40立米未満現有		平成28年度		上水道現有	簡易水道現有
	新設	廃止				新設	廃止		
中央	0	0	103	10	4	1	0	457	0
大正	0	0	47	4	1	0	0	159	0
雀部	1	2	47	5	1	0	0	185	0
庵我	0	0	31	12	1	1	0	80	0
修齊	1	0	77	20	1	0	0	292	0
西中	0	1	41	6	1	0	0	146	0
下川	0	0	33	4	1	0	0	91	0
上豊	0	0	24	16	1	0	0	159	0
上六	0	0	21	9	1	0	0	78	0
中六	0	0	19	4	1	0	0	58	0
下六	0	0	61	6	1	1	0	141	0
上川	0	0	23	2	1	1	1	145	0
金谷	0	0	21	5	1	0	0	91	0
三岳	1	1	6	4	1	0	0	0	119
金山	0	0	12	4	0	0	0	0	98
雲原	0	0	1	0	1	0	0	0	70
佐賀	0	0	7	5	2	0	0	88	0
長田野	58	1	125	62	1	1	0	107	0
菟原	0	0	57	5	1	0	0	0	152
細見	0	0	79	1	1	4	0	0	201
川合	0	0	51	10	1	0	0	0	101
上夜久野	0	0	52	3	1	0	0	0	263
中夜久野	1	0	19	3	0	0	0	0	129
下夜久野	0	0	30	4	1	0	0	0	217
河守	0	0	29	0	1	0	0	0	122
河守上	0	0	25	8	2	0	0	0	110
河西	0	0	14	5	1	1	0	0	79
河東	0	0	32	3	1	0	0	0	110
有路上	0	0	43	3	1	0	0	0	111
有路下	0	0	29	5	1	0	0	0	95
合計	62	5	1,159	228	33	10	1	2,277	1,977

救助活動のための機械器具等の保有状況

(平成29年4月1日)

	品 名	消防署	東分署	北分署
一般救助用	かぎ付きはしご	5	5	4
	三連はしご	3	2	2
	ワイヤーはしご	1		
	空気式救助マット	1		
	救命索発射装置	1		
	救助縛帶	6	1	1
	平担架	1	1	
重量物排除用	油圧ジャッキ	2	2	1
	可搬ワインチ	2	1	1
	マンホール救助器具	1		
	マット型空気ジャッキ	1		
	大型油圧スプレッダー	1		
切断用	大型油圧切断機	1		
	エンジンカッター	4	2	1
	チェーンソー	2	2	1
	ガス溶断機	1		
	空気鋸	1		
	空気切断機	1		
	鉄線カッター	1	3	
破壊器具	万能斧	8	4	3
	ハンマー	1		
	携帯用コンクリート破壊器具	1		
	削岩機	1		
測定用器具	可燃性ガス測定器	3	1	1
	有毒ガス測定器	1		
	放射線測定器	13	1	6

(平成29年4月1日)

	品 名	消防署	東分署	北分署
呼吸保護用	空氣呼吸器	32	6	6
	防塵マスク	44	19	16
	送排風機	1		
隊員保護用	耐電手袋	15	6	5
	耐電衣	4		
	耐電ズボン	4		
	耐電長靴	8	6	5
	防塵メガネ	44	27	16
	携帯警報器	6	6	6
	陽圧式化学防護服	10		
水難救助用	潜水器具	6		
	救命胴衣	49	14	16
	救命ボート	5	2	3
	船外機	4	2	2
	救命浮環	6	1	3
	流水救助器具	12	4	4

【統 計】

火災概要

		平成28年	平成27年	前年比(△減)
火災件数 (爆発)	建物	20 (0)	15 (0)	5 (0)
	林野	1 (0)	0 (0)	1 (0)
	車両	3 (0)	1 (0)	2 (0)
	その他	14 (0)	16 (1)	△ 2 (1)
	計	38 (0)	32 (1)	6 (1)
焼損面積	建物(m ²)	床面積 683	350	333
		表面積 4	60	△ 56
		山林原野(a) 38	1	37
焼損棟数 (棟)	全焼	5	8	△ 3
	半焼	0	0	0
	部分焼	4	5	△ 1
	ぼや	14	8	6
り災世帯 (世帯)	全損	2	3	△ 1
	半損	4	0	4
	小損	13	5	8
り災人員(人)		32	12	20
死傷者 (人)	死者	2	2	0
	傷者	5	1	4
損害見積額 (千円)	建物	19,568	17,607	1,961
	収容物	6,953	6,445	508
	林野	0	0	0
	車両	444	755	△ 311
	その他	0	55	△ 55
	爆発	1,600	22,528	△ 20,928
	計	28,565	47,390	△ 18,825
火災発生間隔(日)		9.6	11.4	△ 1.8
1件平均損害額(千円)		752	1,481	△ 729
1日平均損害額(千円)		78	130	△ 52
1件平均建物焼損面積(m ²)		34	23	11

累年火災比較（10年間）

		19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
火災件数 (件)	建 物	28	33	16	23	19	28	19	18	15	20
	林 野	2	1	0	1	0	2	3	2	0	1
	車 両	9	5	9	3	13	5	2	6	1	3
	その他	12	17	12	17	16	9	15	13	16	14
	計	51	56	37	44	48	44	39	39	32	38
焼損面積	建物 (m ²)	5,447	1,269	544	1,301	1,032	1,189	943	763	350	683
	表面積	102	4	149	71	7	15	47	17	53	4
	山林原野 (a)	117	49	46	65	47	15	47	22	1	38
焼損棟数 (棟)	全 燃	8	10	6	10	9	7	9	5	9	5
	半 燃	2	0	0	2	3	4	2	0	0	0
	部分燃	9	9	8	5	5	9	8	4	5	4
	ぼ や	15	18	6	13	13	14	10	16	8	14
り災世帯 (世帯)	全 損	5	5	2	4	4	5	4	5	3	2
	半 損	3	0	0	2	1	1	0	1	0	4
	小 損	9	15	9	10	14	13	12	5	5	13
り災人員 (人員)		32	56	34	45	49	42	37	20	10	32
死傷者 (人)	死 者	0	2	1	1	3	3	4	3	2	2
	傷 者	6	13	2	7	5	6	64	7	1	5
損害見積額 (千円)	建 物(収容物含む)	394,085	52,364	16,093	42,813	51,902	49,612	36,630	41,184	24,052	26,521
	林 野	0	0	0	0	0	0	1,244	0	0	0
	車 両	2,928	12,760	1,786	3,624	1,432	297	147	691	755	444
	その他の	791	4,794	0	3,471	3,144	302	424	753	55	0
	爆 発	0	0	0	0	0	0	0	0	22,528	1,600
	計	397,804	69,918	17,879	49,908	56,478	50,211	38,445	42,628	47,390	28,565

署・分署別火災発生状況

(平成28年中)

		消防署	東分署	北分署	合計
火災件数 (件)	建 物	9	5	6	20
	林 野	0	0	1	1
	車 両	2	1	0	3
	その他の	4	4	6	14
	計	15	10	13	38
焼損面積	建 物 (m ²)	29	12	642	683
	山林原野 (a)	8	8	22	38
焼損棟数 (棟)	全 燃	0	0	5	5
	半 燃	0	0	0	0
	部 分 燃	2	1	1	4
	ぼ や	8	4	2	14
	計	10	5	8	23
り災世帯 (世帯)	全 損	1	0	1	2
	半 損	4	0	0	4
	小 損	8	3	2	13
	計	13	3	3	19
り災人員 (人)		19	6	7	32
死 者 (人)		1	0	1	2
傷 者 (人)		2	1	2	5
損害見積額 (千円)	建 物	6,880	161	12,527	19,568
	収 容 物	280	4,754	1,919	6,953
	林 野	0	0	0	0
	車 両	244	200	0	444
	そ の 他	0	0	0	0
	爆 発	0	1,600	0	1,600
	計	7,404	6,715	14,446	28,565

地区別火災発生状況 1

(平成28年中)

	火災件数(件)					焼損面積			焼損棟数(棟)				
	建 物	林 野	車 両	その 他	計	建物(m ²)		山林 原野 (a)	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計
						床面積	表面積						
中央	5	0	2	0	7	0	1	0	0	0	0	6	6
大正	2	0	0	1	3	25	1	0	0	0	1	1	2
雀部	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
庵我	1	0	0	1	2	0	0	3	0	0	0	1	1
修斎	1	0	0	1	2	4	0	0	0	0	1	0	1
西中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上豊	0	0	0	2	2	0	0	5	0	0	0	0	0
上六	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中六	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下六	3	0	1	1	5	0	2	0	0	0	0	3	3
上川	0	0	0	2	2	0	0	8	0	0	0	0	0
金谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三岳	0	1	0	1	2	0	0	1	0	0	0	0	0
金山	1	0	0	1	2	31	0	3	1	0	0	0	1
雲原	1	0	0	0	1	12	0	0	0	0	1	0	1
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菟原	2	0	0	0	2	12	0	0	0	0	1	1	2
細見	0	0	0	2	2	0	0	8	0	0	0	0	0
川合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上夜久野	2	0	0	0	2	233	0	1	3	0	0	1	4
中夜久野	1	0	0	0	1	366	0	0	1	0	0	0	1
下夜久野	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1
河守	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河守上	0	0	0	1	1	0	0	9	0	0	0	0	0
河西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	20	1	3	14	38	683	4	38	5	0	4	14	23

地区別火災発生状況 2

(平成28年中)

	り災世帯（世帯）				り災人 員（人）	死傷者（人）		損害見積額（千円）						
	全 損	半 損	小 損	計		死 者	傷 者	建 物	収 容 物	林 野	車 両	そ の 他	爆 発	計
中央	0	0	4	4	6	0	0	118	26	0	244	0	0	388
大正	1	4	1	6	6	0	0	6,342	189	0	0	0	0	6,531
雀部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
庵我	0	0	2	2	6	0	1	0	0	0	0	0	0	0
修齊	0	0	1	1	1	0	1	420	65	0	0	0	0	485
西中	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上豊	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
上六	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中六	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下六	0	0	2	2	3	0	0	146	4,709	0	200	0	1,600	6,655
上川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三岳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
金山	0	0	0	0	0	0	0	35	3	0	0	0	0	38
雲原	0	0	1	1	3	0	2	1,607	92	0	0	0	0	1,699
佐賀	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菟原	0	0	1	1	3	0	0	15	45	0	0	0	0	60
細見	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
川合	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上夜久野	0	0	0	0	0	0	0	4,055	319	0	0	0	0	4,374
中夜久野	1	0	0	1	3	1	0	6,830	1,505	0	0	0	0	8,335
下夜久野	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河守	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河守上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
河東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有路下	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	2	4	13	19	32	2	5	19,568	6,953	0	444	0	1,600	28,565

月別火災発生状況

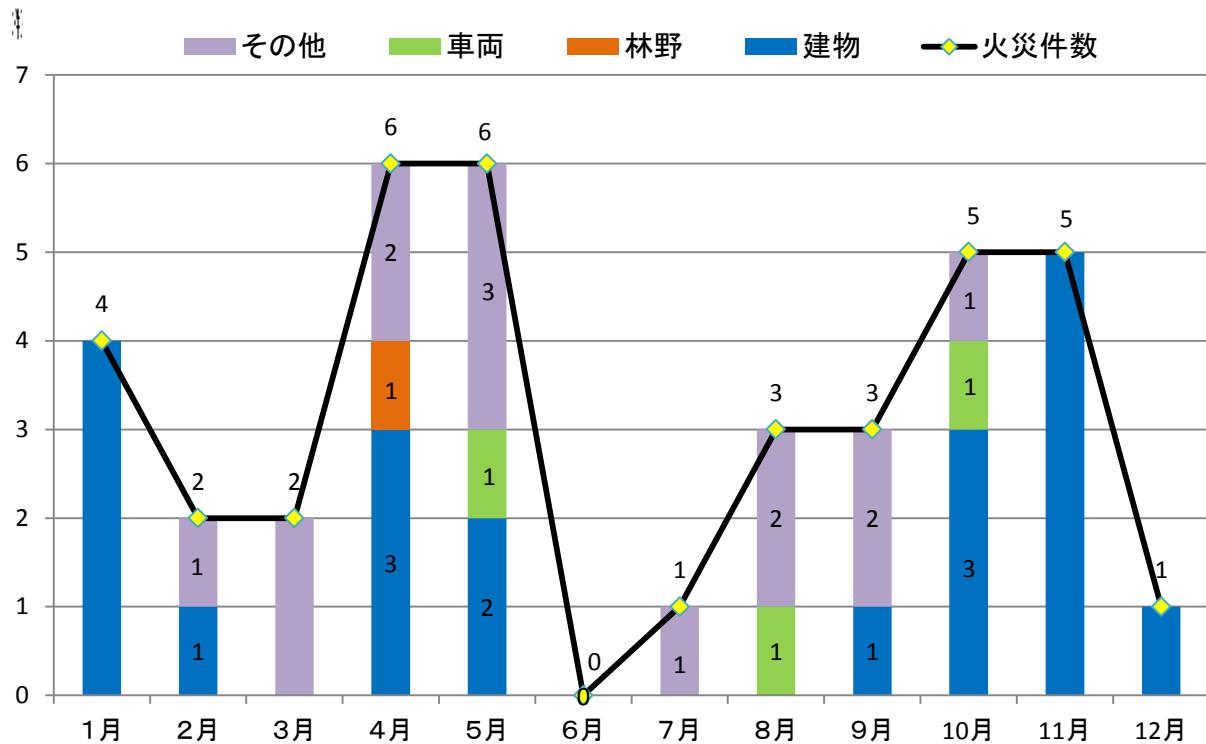
(平成28年中)

	火災発生件数(件)					焼損面積		焼損棟数(棟)					
	建 物	林 野	車 両	そ の 他	計	建物(m ²)		山林 原野 (a)	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	計
						床 面 積	表 面 積						
1月	4	0	0	0	4	568	1	1	3	0	0	3	6
2月	1	0	0	1	2	25	1	1	0	0	1	0	1
3月	0	0	0	2	2	0	0	15	0	0	0	0	0
4月	3	1	0	2	6	31	1	11	1	0	0	2	3
5月	2	0	1	3	6	0	1	3	0	0	0	2	2
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	1	1	0	0	5	0	0	0	0	0
8月	0	0	1	2	3	0	0	2	0	0	0	0	0
9月	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	1	1
10月	3	0	1	1	5	12	0	0	0	0	1	3	4
11月	5	0	0	0	5	16	0	0	0	0	2	3	5
12月	1	0	0	0	1	31	0	0	1	0	0	0	1
合計	20	1	3	14	38	683	4	38	5	0	4	14	23

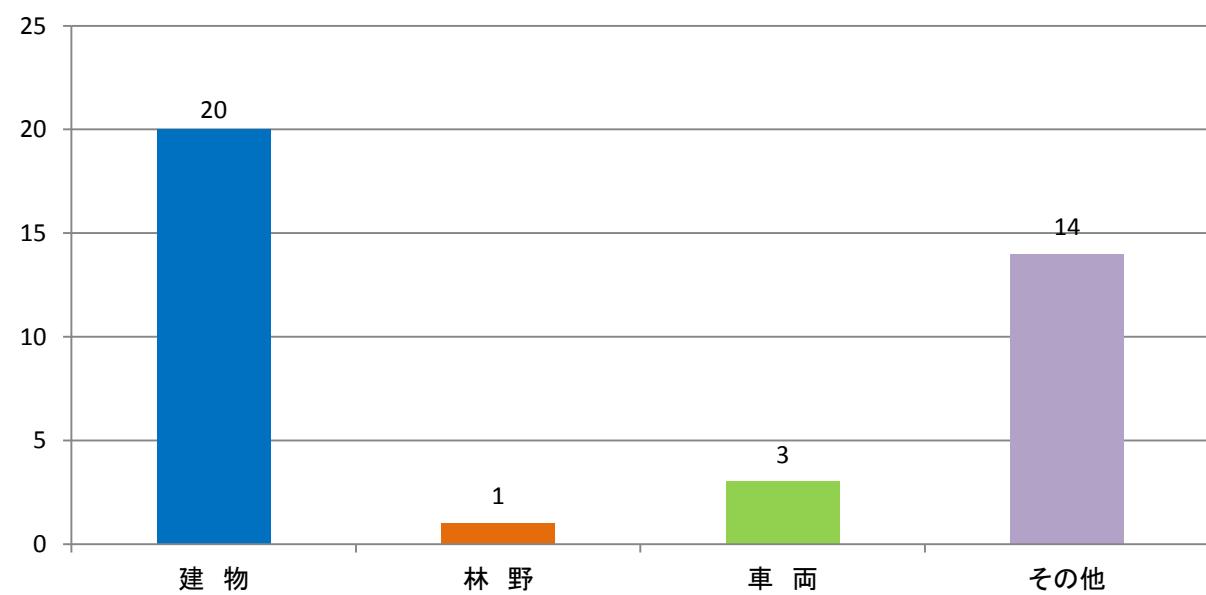
(平成28年中)

	り災世帯(世帯)				り 災 人 員 (人)	死傷者(人)		損害見積額(千円)						
	全 損	半 損	小 損	計		死 者	傷 者	建 物	收 容 物	林 野	車 両	そ の 他	爆 発	計
1月	1	0	2	3	7	1	0	10,795	1,697	0	0	0	0	12,492
2月	1	4	0	5	5	0	0	6,342	184	0	0	0	0	6,526
3月	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
4月	0	0	1	1	1	0	0	38	4,715	0	0	0	0	4,753
5月	0	0	2	2	5	0	1	143	2	0	20	0	0	165
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	200	0	0	200
9月	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1,600	1,601
10月	0	0	4	4	8	0	0	116	45	0	224	0	0	385
11月	0	0	3	3	5	0	3	2,027	158	0	0	0	0	2,185
12月	0	0	0	0	0	0	0	107	151	0	0	0	0	258
合計	2	4	13	19	32	2	5	19,568	6,953	0	444	0	1,600	28,565

月別火災種別件数



火災種別件数

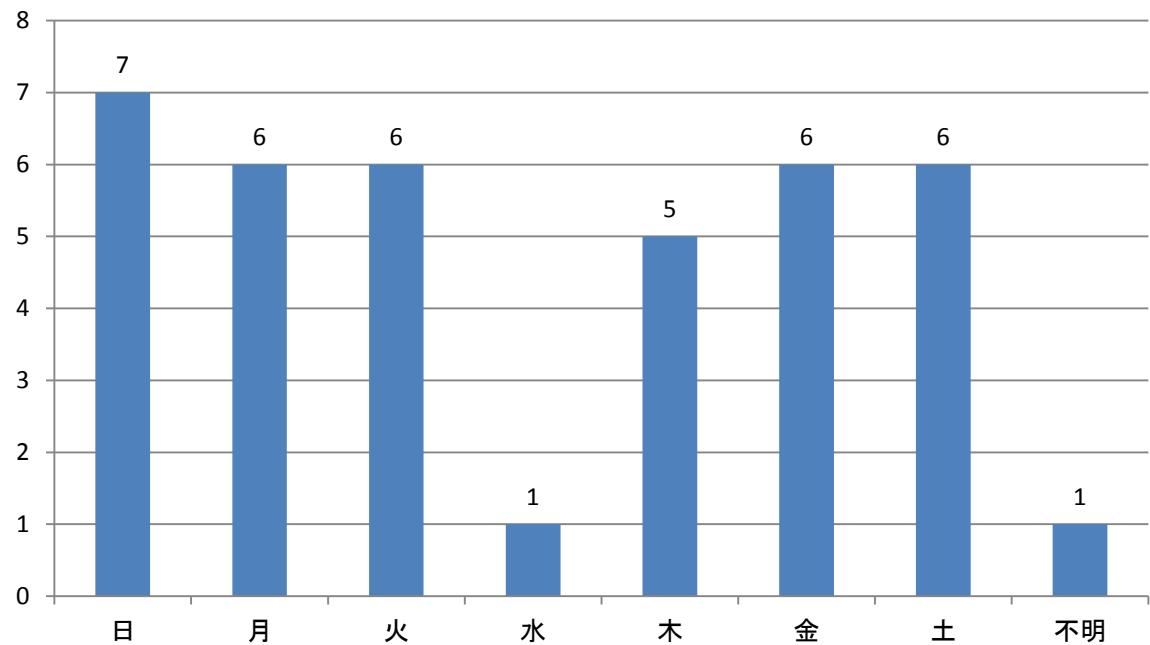


曜日・時間別火災発生状況

(平成28年中)

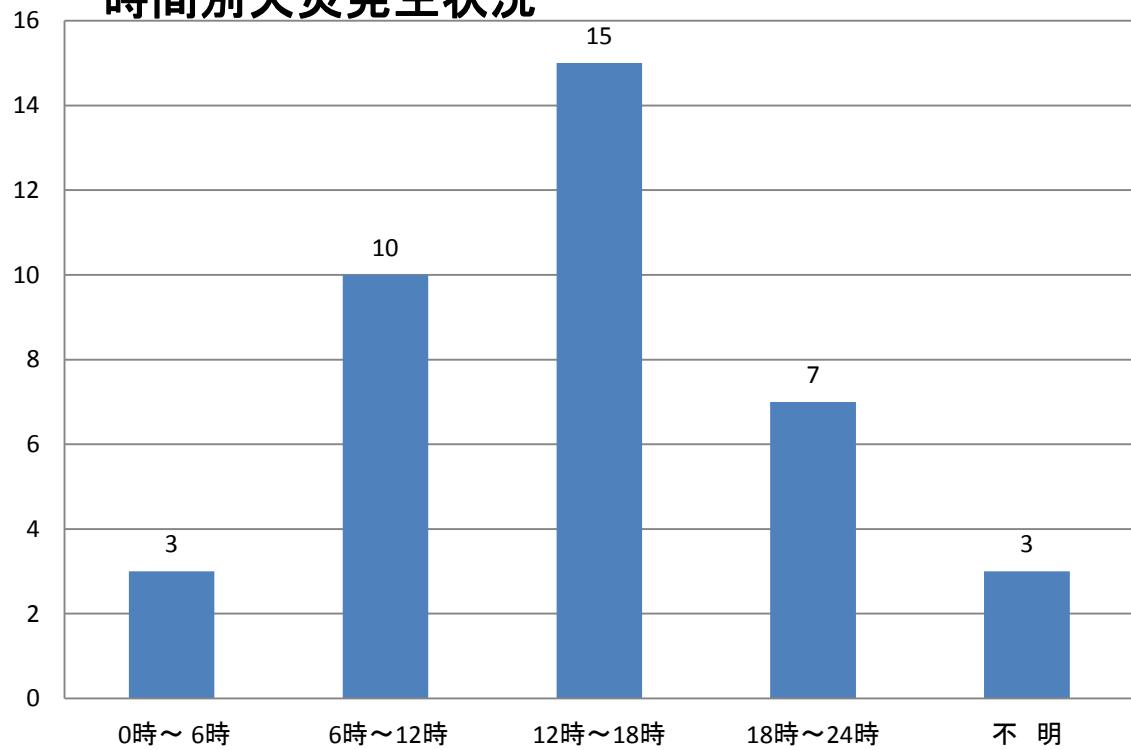
		件数 (件)	火災種別			焼損面積			損害見積額 (千円)
			建物	林野	車両	その他	建物 床面積 (m ²)	表面積 (m ²)	
日	0~6	1	1	0	0	0	0	0	0
	6~12	4	0	0	1	3	0	0	17
	12~18	2	0	0	1	1	0	0	200
	18~24	0	0	0	0	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	7	1	0	2	4	0	0	526
月	0~6	0	0	0	0	0	0	0	0
	6~12	1	1	0	0	0	31	0	38
	12~18	3	1	0	1	1	0	0	21
	18~24	1	1	0	0	0	0	0	1
	不明	1	0	0	0	1	0	0	0
	計	6	3	0	1	2	31	0	60
火	0~6	0	0	0	0	0	0	0	0
	6~12	1	1	0	0	0	0	0	0
	12~18	2	2	0	0	0	0	0	1,617
	18~24	2	2	0	0	0	4	1	510
	不明	1	1	0	0	0	31	0	258
	計	6	6	0	0	0	35	1	2,385
水	0~6	1	1	0	0	0	12	0	59
	6~12	0	0	0	0	0	0	0	0
	12~18	0	0	0	0	0	0	0	0
	18~24	0	0	0	0	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1	0	0	0	12	0	59
木	0~6	0	0	0	0	0	0	0	0
	6~12	2	1	0	0	1	0	0	6
	12~18	2	0	0	0	2	0	0	0
	18~24	1	0	0	0	1	0	0	0
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	5	1	0	0	4	0	0	8
金	0~6	1	1	0	0	0	0	0	5
	6~12	1	1	0	0	0	366	0	8,335
	12~18	3	1	1	0	1	12	0	1,699
	18~24	1	1	0	0	0	25	1	6,526
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	6	4	1	0	1	403	1	16,565
土	0~6	0	0	0	0	0	0	0	0
	6~12	1	1	0	0	0	0	1	144
	12~18	3	0	0	0	3	0	0	0
	18~24	2	2	0	0	0	202	1	8,826
	不明	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	6	3	0	0	3	202	2	8,970
不明		1	1	0	0	0	0	0	0

(件) 曜日別火災発生状況



(件)

時間別火災発生状況



気象別火災発生状況

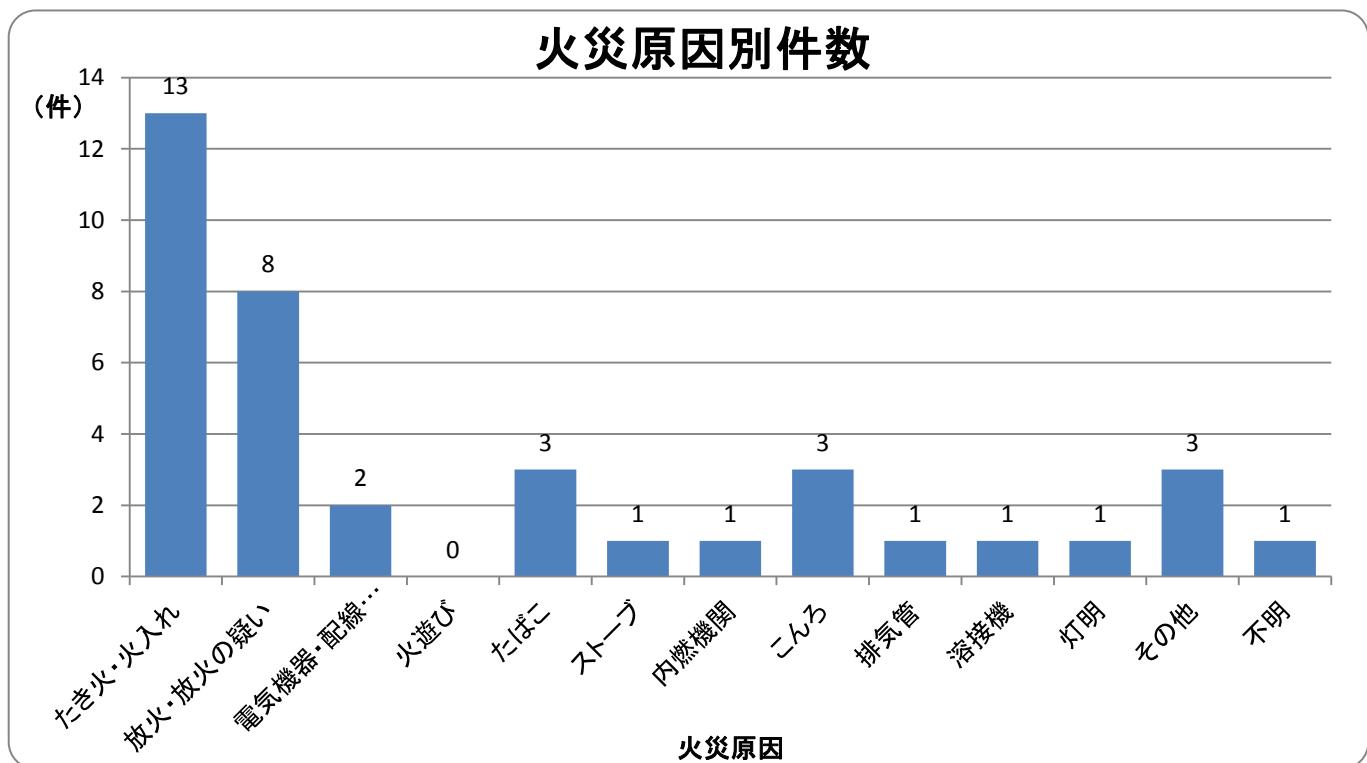
(平成28年中)

		火災件数(件)					損害見積額(千円)						
		合計	建物	林野	車両	その他	合計	建物	収容物	林野	車両	その他	爆発
風速	2m未満	20	13	0	0	7	21,077	18,901	2,176	0	0	0	0
	2m~3m	7	1	0	2	4	705	420	65	0	220	0	0
	3m~5m	8	4	0	1	3	2,072	244	4	0	224	0	1,600
	5m~7m	2	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
	7m~10m	1	1	0	0	0	4,710	3	4,707	0	0	0	0
	10m以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	38	20	1	3	14	28,565	19,568	6,953	0	444	0	1,600
湿度	40%未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	40%~50%	5	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0
	50%~60%	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	60%~70%	7	3	0	2	2	5,275	139	4,712	0	424	0	0
	70%~80%	7	3	0	0	4	145	143	2	0	0	0	0
	80%~90%	2	1	0	0	1	1,699	1,607	92	0	0	0	0
	90%以上	16	13	0	1	2	21,446	17,679	2,147	0	20	0	1,600
	計	38	20	1	3	14	28,565	19,568	6,953	0	444	0	1,600
天候	晴	19	6	1	2	10	8,897	8,193	280	0	424	0	0
	曇	15	11	0	0	4	9,227	4,125	5,102	0	0	0	0
	雨	3	2	0	1	0	2,106	420	66	0	20	0	1,600
	霧	1	1	0	0	0	8,335	6,830	1,505	0	0	0	0
	雪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	38	20	1	3	14	28,565	19,568	6,953	0	444	0	1,600
警報・注意報等	火災気象通報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	乾燥・強風注意報	3	1	0	0	2	38	35	3	0	0	0	0
	なし	26	13	0	2	11	13,581	12,668	669	0	244	0	0
	その他	9	6	1	1	1	14,946	6,865	6,281	0	200	0	1,600
	計	38	20	1	3	14	28,565	19,568	6,953	0	444	0	1,600

火災原因別調べ

(平成28年中)

	件数 (件)	内訳												損害 見積額 (千円)
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
たき火・火入れ	13	0	1	1	4	2	0	1	2	1	1	0	0	38
放火・放火の疑い	8	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	2	1	11,278
電気機器・配線器具	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4,260
火遊び	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
たばこ	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1,704
ストーブ	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	485
内燃機関	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	200
こんろ	3	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1,602
排気管	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	20
溶接機	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	326
灯明	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8,335
その他	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	59
不明	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	258
合計	38	3	2	2	6	6	0	1	3	3	5	5	2	28,565



救急概要

(平成28年中)

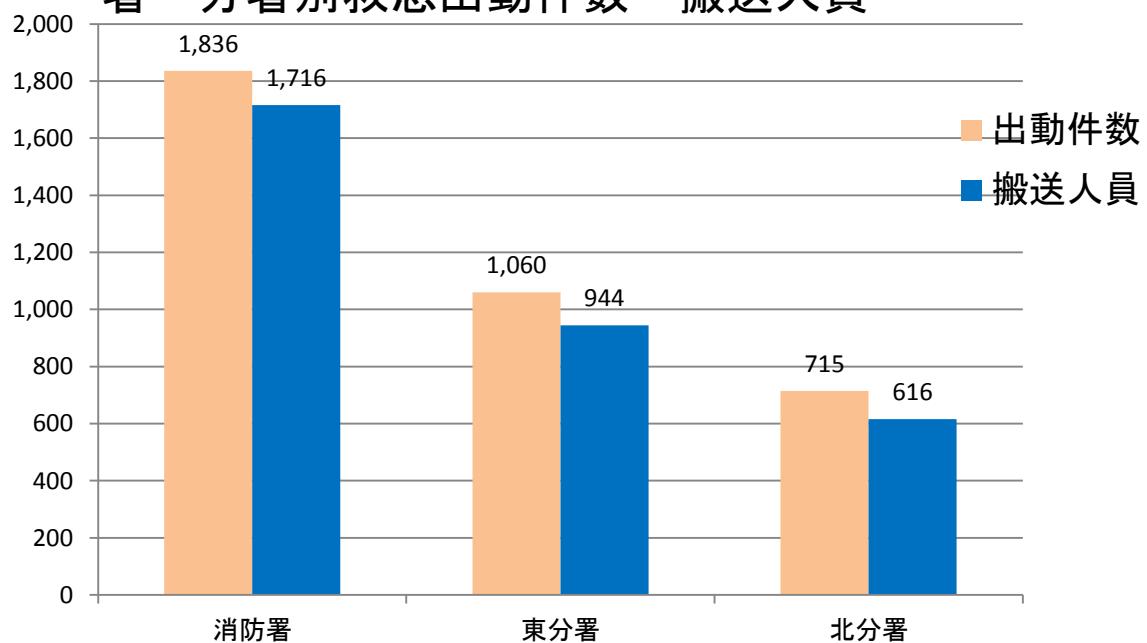
		平成28年	平成27年	前年比(△減)
出動件数(件)		3,611	3,594	17
事 故 種 別	火災	35	28	7
	自然災害	0	0	0
	水難	0	4	△4
	交通	356	358	△2
	労働災害	41	33	8
	運動競技	18	24	△6
	一般負傷	513	520	△7
	加害	8	19	△11
	自損行為	49	39	10
	急病	2,288	2,277	11
	その他	256	272	△16
	転院搬送	3	1	2
	医師搬送	0	0	0
	資材搬送	44	19	25
搬送人員		3,276	3,336	△60
不搬送		383	320	63
1カ月平均出動件数(件)		300	300	0
1日平均出動件数(件)		9.89	9.85	0.04
平均現着所要時間(分)		8.80	9.20	△0.4

署・分署別救急活動状況

(平成28年中)

		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
消防署	出動件数(件)	10	0	0	181	15	11	249	7	18	1,130	215	1,836
	搬送人員(人)	1	0	0	182	15	11	238	7	14	1,049	199	1,716
東分署	出動件数(件)	8	0	0	103	18	5	161	1	22	704	38	1,060
	搬送人員(人)	1	0	0	106	15	5	152	0	8	629	28	944
北分署	出動件数(件)	17	0	0	72	8	2	103	0	9	454	50	715
	搬送人員(人)	3	0	0	72	8	2	102	0	5	386	38	616
合計	出動件数(件)	35	0	0	356	41	18	513	8	49	2,288	303	3,611
	搬送人員(人)	5	0	0	360	38	18	492	7	27	2,064	265	3,276

(件・人)署・分署別救急出動件数・搬送人員



月別救急活動状況

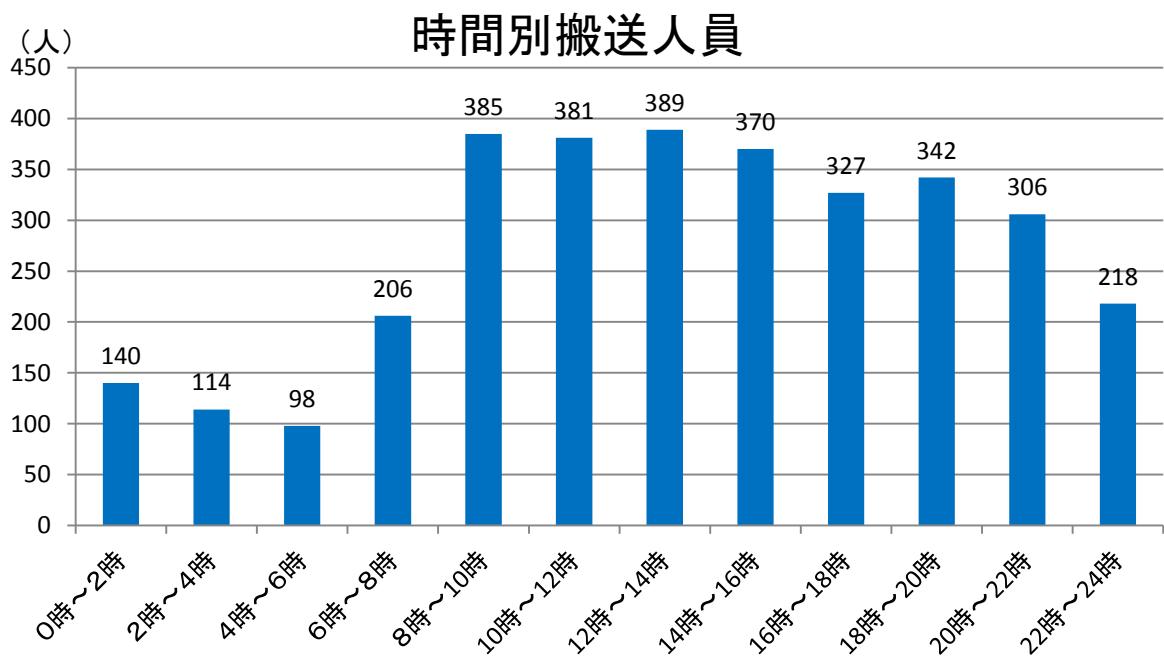
(平成28年中)

		火 災	自 然 災 害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
1月	出動件数(件)	4			32	3		36		4	228	31	338
	搬送人員(人)				32	3		36		4	198	28	301
2月	出動件数(件)	2			28	2	1	34		2	184	35	288
	搬送人員(人)	1			30	2	1	33		1	163	32	263
3月	出動件数(件)	2			25	5	2	38	2	7	189	25	295
	搬送人員(人)				23	5	2	37	2	3	171	21	264
4月	出動件数(件)	7			28	1	1	35	2	1	169	20	264
	搬送人員(人)				29	1	1	33	1	1	157	17	240
5月	出動件数(件)	1			27	3		55	1	7	179	21	294
	搬送人員(人)	1			28	3		51	1	4	159	18	265
6月	出動件数(件)				30	1	3	40		3	181	23	281
	搬送人員(人)				28	1	3	39		2	168	21	262
7月	出動件数(件)	2			32	4	2	42		5	199	24	310
	搬送人員(人)	1			36	4	2	43		1	183	18	288
8月	出動件数(件)	5			42	8	5	51	1	6	204	33	355
	搬送人員(人)				44	8	5	49	1	3	183	32	325
9月	出動件数(件)	3			32	1	1	33	1		158	12	241
	搬送人員(人)				31	1	1	33	1		144	11	222
10月	出動件数(件)	5			29	5	2	52	1	6	174	21	295
	搬送人員(人)				27	3	2	47	1	3	166	17	266
11月	出動件数(件)	3			23	2	1	45		4	190	31	299
	搬送人員(人)	2			24	2	1	43		2	171	27	272
12月	出動件数(件)	1			28	6		52		4	233	27	351
	搬送人員(人)				28	5		48		3	201	23	308
合計	出動件数(件)	35	0	0	356	41	18	513	8	49	2,288	303	3,611
	搬送人員(人)	5	0	0	360	38	18	492	7	27	2,064	265	3,276

時間別事故種別搬送人員

(平成28年中)

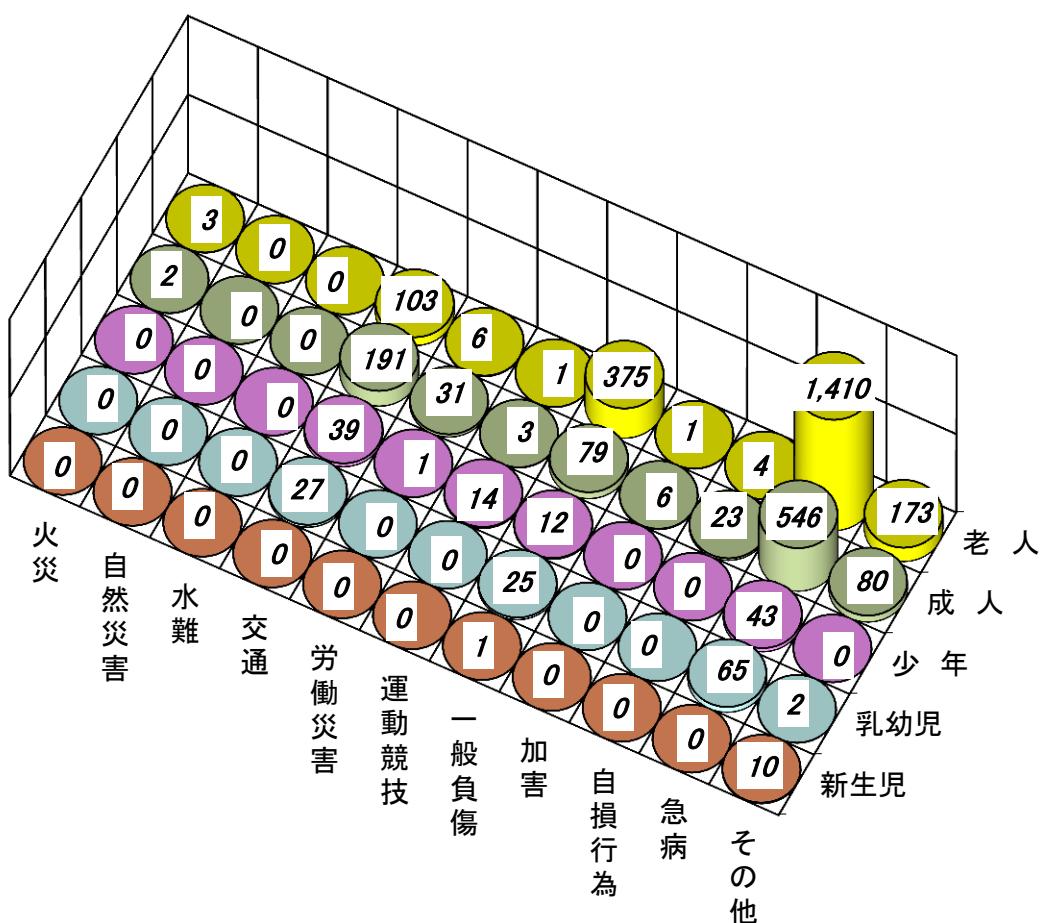
	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
0～2	0	0	0	5	0	0	19	0	0	100	16	140
2～4	0	0	0	2	1	0	12	1	0	88	10	114
4～6	0	0	0	7	1	0	10	0	1	74	5	98
6～8	0	0	0	23	3	0	43	0	4	132	1	206
8～10	1	0	0	34	4	0	63	0	1	247	35	385
10～12	1	0	0	35	10	6	64	1	6	220	38	381
12～14	2	0	0	47	8	2	58	1	1	241	29	389
14～16	0	0	0	68	3	8	64	0	2	197	28	370
16～18	0	0	0	64	3	1	44	1	4	179	31	327
18～20	0	0	0	46	1	0	49	1	3	217	25	342
20～22	1	0	0	18	3	1	40	0	2	214	27	306
22～24	0	0	0	11	1	0	26	2	3	155	20	218
合計	5	0	0	360	38	18	492	7	27	2,064	265	3,276



年齢区分別事故種別搬送人員

(平成 28 年中)

	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	10	11
乳幼児	0	0	0	27	0	0	25	0	0	65	2	119
少年	0	0	0	39	1	14	12	0	0	43	0	109
成人	2	0	0	191	31	3	79	6	23	546	80	961
老人	3	0	0	103	6	1	375	1	4	1,410	173	2,076
合 計	5	0	0	360	38	18	492	7	27	2,064	265	3,276



傷病程度別性別事故種別搬送人員

(平成28年中)

傷病程度		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
死 亡	男性	0	0	0	0	0	0	2	0	4	13	0	19
	女性	0	0	0	0	0	0	2	0	2	5	0	9
	計	0	0	0	0	0	0	4	0	6	18	0	28
重 症	男性	0	0	0	14	5	0	17	0	1	85	36	158
	女性	1	0	0	4	0	0	27	0	0	72	32	136
	計	1	0	0	18	5	0	44	0	1	157	68	294
中等症	男性	2	0	0	30	15	4	75	0	3	435	90	654
	女性	0	0	0	19	2	2	117	0	5	399	91	635
	計	2	0	0	49	17	6	192	0	8	834	181	1,289
軽 症	男性	1	0	0	155	14	11	136	4	3	510	6	840
	女性	1	0	0	138	2	1	116	3	9	545	10	825
	計	2	0	0	293	16	12	252	7	12	1,055	16	1,665
その他の	男性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	女性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	男性	3	0	0	199	34	15	230	4	11	1,043	132	1,671
	女性	2	0	0	161	4	3	262	3	16	1,021	133	1,605
	合計	5	0	0	360	38	18	492	7	27	2,064	265	3,276

傷病程度別年齢区分搬送人員

(平成28年中)

	新生児	乳幼児	少 年	成 人	老 人	合計
死 亡	0	0	0	5	23	28
重 症	5	8	2	66	213	294
中等症	4	7	13	289	976	1,289
軽 症	2	104	94	601	864	1,665
その他の	0	0	0	0	0	0
合 計	11	119	109	961	2,076	3,276

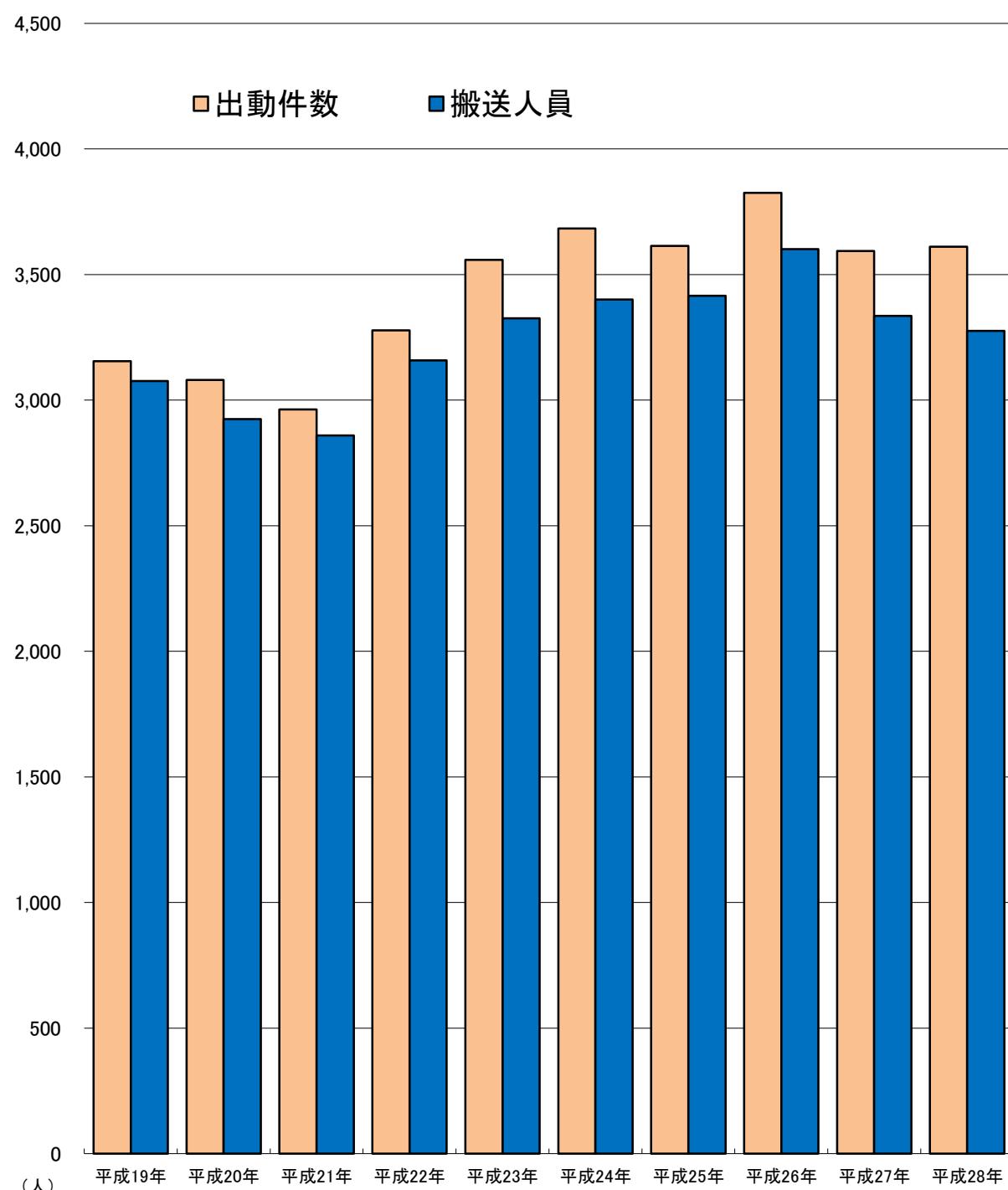
救急講習実施状況

	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年
市民救命士(人)	1,009	646	589	652	825	619	923
(開催回数)	44	37	32	45	46	51	62
応急手当普及員(人)	54	0	31	0	0	0	52

	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
市民救命士(人)	1,135	1,029	1,065	1,311	1,241	1,387	1,249
(開催回数)	81	78	69	73	84	82	116
応急手当普及員(人)	0	27	0	0	55	44	28

	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	合計
市民救命士(人)	2,001	2,100	2,825	3,243	23,849
(開催回数)	96	107	140	151	1,394
応急手当普及員(人)	98	62	45	46	542

過去10年間における救急出動の推移



	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年
出動件数	3,155	3,080	2,963	3,278	3,559	3,683	3,614	3,825	3,594	3,611
搬送人員	3,076	2,925	2,860	3,158	3,326	3,401	3,416	3,601	3,336	3,276

救助概要

1 出動状況及び活動状況

(平成28年中)

	出 動 状 況										活 動 状 況		
	火 災	交 通 事 故	水 難	風 自然 災 害 等 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 に よ る 事 故	ガ 酸 ス 及 び 事 故	破裂 事 故	その 他 事 故	合 計	出 動 隊 数	活 動 件 数	救 助 人 員
1 月	2	4							2	8	8	6	6
2 月	1	5								6	6	3	5
3 月		3							3	6	6	1	1
4 月	3								1	4	4	4	1
5 月						1				1	1	0	0
6 月		3								3	3	0	0
7 月		5			1		1			7	7	2	3
8 月		2								2	2	2	2
9 月		2								2	2	0	0
10 月	2	2							2	6	6	4	2
11 月	1					1				2	2	1	1
12 月	1	3			1				1	6	6	2	1
合 計	10	29	0	0	3	1	1	0	9	53	53	25	22

2 救助活動状況（前年との比較）

年 及 比 べ る 年	別 び 較 べ る 年	出 動 件 数 及 び 救 助 人 員	事 故 種 别									合 計
			火 灾	交 通 事 故	水 難	風 自然 災 害 等 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 に よ る 事 故	ガ 酸 ス 及 び 事 故	破裂 事 故	その 他 事 故	
平成28年	平成28年	出動件数(件)	10	29			3	1	1		9	53
		救助人員(人)	2	14			1		2		3	22
平成27年	平成27年	出動件数(件)	13	34	4	0	2	0	0	0	9	62
		救助人員(人)	0	10	2	0	1	0	0	0	4	17
前 年 比	前 年 比	出動件数(件)	△ 3	△ 5	△ 4	0	1	1	1	0	0	△ 9
		救助人員(人)	2	4	△ 2	0	0	0	2	0	△ 1	5

(△印は前年より減少)

【予 防】

防火対象物の状況

(平成28年度)

項別防火対象物		防火管理者選任義務対象物(法第8条)				消防用設備等設置対象物(法第17条)			
		消防署	東分署	北分署	計	消防署	東分署	北分署	計
1	イ 劇場・映画館	2		1	3	7		1	8
	ロ 公会堂・集会場	11	8	3	22	12	9	3	24
2	イ キャバレー・カフェー	1			1	2			2
	ロ 遊技場・ダンスホール	3	2	1	6	3	2	1	6
	ハ 性風俗店舗								
	ニ カラオケボックス等	2	1		3	3	1		4
3	イ 待合・料理店	5			5	5			5
	ロ 飲食店	73	13	12	98	95	18	21	134
4	百貨店・マーケット	93	26	16	135	118	38	28	184
5	イ 旅館・ホテル	15	4	10	29	25	7	14	46
	ロ 寄宿舎・共同住宅	32	22		54	713	354	14	1081
6	イ 病院・診療所	6		2	8	34	9	10	53
	ロ 福祉施設等	12	13	4	29	14	39	4	57
	ハ ロ以外の福祉施設等	23	13	10	46	52	32	12	96
	ニ 幼稚園・特別支援学校	4	1		5	8	1		9
7	各種学校	14	15	9	38	70	63	10	143
8	図書館・博物館	3	1	2	6	5	1	2	8
9	イ 热氣蒸気等の公衆浴場								
	ロ イ以外の公衆浴場			1	1	2	1	1	4
10	停車場								
11	神社・寺院	20	8	18	46	34	15	34	83
12	イ 工場・作業場	8	33	2	43	152	285	83	520
	ロ 映画スタジオ						1		1
13	イ 自動車車庫					66	18	4	88
	ロ 飛行機格納庫								
14	倉庫	1	3		4	187	158	35	380
15	事業所	74	35	26	135	276	202	94	572
16	イ 複合対象物	107	26	16	149	224	51	25	300
	ロ イ以外の複合対象物	15	4	3	22	110	40	13	163
16の2	地下街								
16の3	準地下街								
17	重要文化財			1	2	3	14	1	3
	延長50メートル以上のアーケード					5			5
合 計		524	230	138	892	2,236	1,346	412	3,994

建築同意事務 署・分署別件数

(平成28年度)

		新築	増築	改築	その他	計画変更	許可申請	合計
消防署	指導あり	28	8		3	9		48
	指導なし	35	5			8	1	49
	小計	63	13		3	17	1	97
東分署	指導あり	12	9			4		25
	指導なし	19	1				2	22
	小計	31	10			4	2	47
北分署	指導あり	3	1			1		5
	指導なし		1			1		2
	小計	3	2			2		7
合計	指導あり	43	18		3	14		78
	指導なし	54	7			9	3	73
	小計	97	25		3	23	3	151

建築同意事務業態別棟別件数

(平成28年度)

項		防火対象物	新築	増築	改築	その他	計画変更	許可申請	合計
1	イ	劇場等							
	ロ	集会所等							
2	イ	キャバレー等							
	ロ	遊技場等							
	ハ	性風俗店舗等							
	ニ	カラオケボックス等							
3	イ	料理店等							
	ロ	飲食店	1	1					2
4		百貨店等	4	2		1	5		12
5	イ	旅館等							
	ロ	共同住宅等	22	1			5	1	29
6	イ	病院等		1			2		3
	ロ	養護老人ホーム等	1	1					2
	ハ	軽費老人ホーム等	1	2		1			4
	ニ	幼稚園等							
7		学校等							
8		図書館等		1					1
9	イ	蒸気浴場等							
	ロ	一般浴場							
10		車両停車場							
11		神社等							
12	イ	工場等	3	7			2		12
	ロ	スタジオ等							
13	イ	車庫等	3						3
	ロ	特殊格納庫							
14		倉庫	4	2				1	7
15		前各項以外	13	4			2		19
16	イ	特定複合				1	2		3
	ロ	イ以外	1				1		2
17		文化財							
18		アーケード							
専用住宅等			44	3			4	1	52
合計			97	25		3	23	3	151

消防用設備等検査状況

(平成28年度)

	消防用設備等	着工届出書 (累計)	設置届出書 (累計)	完成検査 (累計)
消防設備	消火器		88	73
	屋内消火栓設備	7	8	6
	パッケージ型消火設備	6	6	6
	屋外消火栓設備	3	3	3
	水噴霧消火設備			
	泡消火設備	1	1	1
	ハロゲン化物消火設備			
	粉末消火設備	1	1	1
	不活性ガス消火設備	1	1	1
	スプリンクラー設備	6	8	12
	動力消防ポンプ設備			
警報設備	自動火災報知設備	89	130	110
	漏電火災警報器	3	2	2
	非常警報設備・非常ベル	8	12	12
	非常警報設備・非常放送	7	4	6
	ガス漏れ火災警報設備			
	消防機関へ通報する火災報知設備	5	7	8
避難設備	避難器具	8	12	8
	誘導灯	61	108	95
	誘導標識		51	47
消防用水		2	3	1
消火要活な動設上備	連結送水管			2
	連結散水設備			
	排煙設備	1	1	1
	非常コンセント設備			
	無線通信補助施設			
フード等用簡易自動消火装置				
開放装置・シャッター				2
合計		209	446	397

危険物施設の状況

(平成28年度)

製造所		貯蔵所							取扱所			合計	
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般		
許可施設数		15	75	80	4	61	0	36	4	61	2	52	390
数量別数	5倍以下	0	30	9	2	22	0	35	1	4	0	22	125
	5倍を越え10倍以下	1	21	8	1	13	0	0	2	6	0	11	63
	10倍を越え50倍以下	4	15	29	1	21	0	0	1	16	2	16	105
	50倍を越え100倍以下	3	1	19	0	3	0	1	0	10	0	1	38
	100倍を越え150倍以下	3	7	3	0	1	0	0	0	7	0	0	21
	150倍を越え200倍以下	1	0	8	0	1	0	0	0	9	0	0	19
	200倍を越え1,000倍以下	2	1	4	0	0	0	0	0	9	0	1	17
	1,000倍を越えるもの	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
種別	第1類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第2類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第3類	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	第4類	11	70	80	4	61	0	36	4	61	1	52	380
	第5類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第6類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	混在	3	5	0	0	0	0	0	0	0	1	0	9

危険物申請の状況

(平成28年度)

製造所		貯蔵所							取扱所			合計	
		屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般		
許可	設置	3	3	0	0	1	0	1	1	0	0	2	11
	変更	14	2	2	0	1	0	0	0	8	0	12	39
完成	設置	0	3	0	0	0	0	1	1	0	0	2	7
	変更	10	0	3	0	1	0	0	0	8	0	10	32
廃止		2	3	7	0	4	0	1	0	1	0	3	21

危険物施設の仮使用・仮貯蔵及び仮取扱の数

(平成28年度)

製造所	貯蔵所							取扱所			仮貯蔵	仮取扱	合計
	屋内	屋外タンク	屋内タンク	地下タンク	簡易タンク	移動タンク	屋外	給油	販売	一般			
10	0	2	0	1	0	0	0	9	0	4	0	1	27

手数料徴収状況

(平成28年度)

仮貯蔵	仮取扱	仮使用	設置許可	変更許可	完成検査	水張検査	水圧検査	合計
0	5	140	377	1,236	556	0	0	2,314

(単位:千円)

火災予防条例等各種届出件数

(平成28年度)

防火対象物使用開始届	炉設置届出書	厨房設備設置届出書	温風暖房機設置届出書	ボイラー設置届出書	乾燥設備設置届出書	ヒートポンプ冷暖房機設置届出書	サウナ設備設置届出書	火花を生ずる設備設置届出書	ヒートポンプ冷暖房機設置届出書	給湯沸騰設備設置届出書	放電加工機設置届	燃料電池発電機設置届出書	蓄電池設備設置届出書	変電設備設置届出書	発電設備設置届出書	蓄電池設備設置届出書	水素ガスを充てんする気球の設置届出書	ネオジン管灯設備設置届出書	少量危険物貯蔵取扱届出書	指定可燃物貯蔵取扱届出書	少量危険物等タンク検査申請書	喫煙等の使用申請書	椅子席固定免除申請書	露店の開設届出書	火気使用届出書	消防訓練通知書	消防計画作成(変更)届出書	消防管理者選任(解任)届出書	火災予防上必要な業務に関する計画書	防火管理に係る講習課程修了証明申請書	消防用設備等点検結果報告書	防火対象物点検結果報告書	圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届出書	指定可燃物貯蔵取扱廃止届出書	少量危険物貯蔵取扱廃止届出書	煙火打上げ仕掛け届出書	催物開催届出書	指定洞道等届出書	その他届出	合計
消防署	50	0	0	0	3	7	1	0	0	0	0	2	7	2	0	0	15	0	0	14	0	43	148	0	137	143	203	31	386	63	17	9	0	10	4	0	15	1,310		
東分署	15	12	0	0	15	2	0	1	0	0	0	0	6	15	5	0	0	18	5	0	1	0	0	125	0	64	75	160	13	230	49	0	10	0	11	1	0	0	833	
北分署	7	0	0	0	3	0	1	2	0	0	0	0	1	7	1	0	0	0	1	0	1	0	0	102	1	44	49	82	12	151	6	0	3	1	11	1	0	10	497	
合計	72	12	0	0	21	9	2	3	0	0	0	0	9	29	8	0	0	33	6	0	16	0	43	375	1	245	267	445	56	767	118	17	22	1	32	6	0	25	2,640	

立入検査実施状況

(平成28年度)

種別	実施日	実施数
指定文化財立入検査	随時	37
防火対象物立入検査	随時	201

防火指導状況

(平成28年度)

対象	事業内容	実施日	実施状況
高齢者	高齢者宅 防火訪問	8/22 8/26 8/31 11/9~11/15 3/1~3/7	70件 251件 260件 合計581件
	高齢者大学 防火研修会	6月9日	180名
自治会等	安心安全講座	随時	60回 3,573名
防火対象物	消防訓練指導	随時	159回 10,229名
	乙種防火管理講習(新規)	11月16日	年1回 6名
	甲種防火管理講習(新規)	8月3.4 11月17.18	年2回 116名
その他	甲種防火管理講習(再講習)	7月8日	年1回 19名
	消防署見学	随時	2,347名
	起震車体験会	9月6日~9月16日	838名

(平成28年度)

養成講座	自主防災リーダー養成講座	7月24日 7月31日	初級105自治会148名 中級46自治会52名
------	--------------	-------------	----------------------------

広報活動状況

(平成28年度)

広報活動内容	回数
1 巡回広報	32回
2 街頭広報	1回
3 有線利用による広報	0回
4 報道機関への情報提供	17回
5 固定放送設備による広報	12回
6 ホームページによる広報	2回

※主な広報 毎月1日『防火の日』の広報、乾燥時期の広報、夏休み事故防止の広報、年末特別火災予防広報、消火器に関する広報、各種運動期間中の広報など。

幼年消防クラブ活動状況

◎目的

幼児に消防研修を行うことにより、防火に対する正しい知識を身につけ、各幼稚園、保育園及び各家庭からの火災の減少を図るとともに、将来人命を尊重し、財産の保全を図る社会人としての素地を育成することを目的とする。

	クラブ数	クラブ員
保育園	29	2,405人
幼稚園	4	489人
その他	3	47人

◎平成28年度実施事業

実施事業	内 容
幼年消防クラブ指導者研修会(年2回実施)	普通救命講習、防火指導に関する研修
巡回防火教室、起震車体験会	幼少期における防火防災学習
消防出初式、防火防災パレード	火災予防を広報し、市内をパレードする

福知山市防災センター来館者状況

(平成28年度)

合計	防災センター	防災広場
11,160人	9,174人	1,986人

【通信指令課】

覚知別集計

(平成28年中)

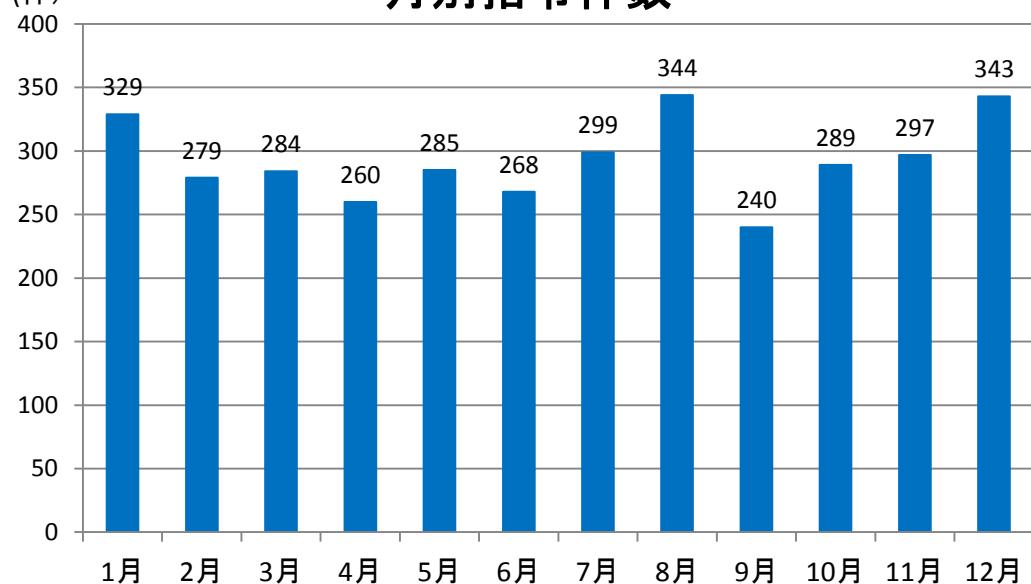
	災害区分	当年件数	119一般	119携帯	119IP	加入電話	福祉電話FAX	駆け付け	自己覚知	事後聞知	その他
火 災	一般建物	20	4	3	1	2				10	
	中高層	0									
	特別対象物	0									
	車両	3		2						1	
	林野	1		1							
	その他	14	2	8		1				1	2
	小計	38	6	14	1	3	0	0	0	12	2
救 急	火災	0									
	自然災害	0									
	水難	0									
	交通	286	16	215	15	36		1			3
	労働災害	30	6	11	12	1					
	運動競技	19	3	14	2						
	一般負傷	506	151	170	138	40		4			3
	加害	7		4	1	2					
	自損	16	2	11	1	2					
	急病	2,199	740	723	565	155		4			12
	転院搬送	256	37	2	23	194					
	医師搬送	0									
	資材搬送	0									
	その他	47	17	15	4	10					1
	小計	3,366	972	1,165	761	440	0	9	0	0	19
救 助	火災	0									
	交通事故	29	4	13	1	11					
	水難事故	0									
	自然災害	0									
	機械事故	3		1	2						
	建物事故	1		1							
	ガス・酸欠	1		1							
	その他	9		4	1	4					
	小計	43	4	20	4	15	0	0	0	0	0
警 戒	自火報発報	13	6	3		3					1
	怪煙調査	23	1	6	1	13					2
	油漏れ	7		1		6					
	ガス漏れ	0									
	自然災害	2	1			1					
	異臭調査	2	1	1							
	その他	23	1	7	1	14					
	小計	70	10	18	2	37	0	0	0	2	1
その 他	病院紹介	27	8	9	10						
	問い合わせ	432	210	156	66						
	誤報	20	12	4	4						
	いたずら	76	15	58	3						
	119試験	277	182	65	30						
	通報訓練	418	235	33	150						
	重複	125	28	66	31						
	まちがい	203	79	103	21						
	取り消し	73	18	36	19						
	その他	568	226	255	87						
	小計	2,219	1,013	785	421	0	0	0	0	0	0
転 送	舞鶴転送	2	1		1						
	綾部転送	11		10	1						
	中部転送	2	1		1						
	宮津転送	0									
	丹波転送	2		2							
	豊岡転送	0									
	南但転送	0									
	篠山転送	0									
	小計	17	2	12	3	0	0	0	0	0	0
	合計	5,753	2,007	2,014	1,192	495	0	9	0	14	22

月別指令状況

(平成28年中)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火 災	4	2	2	6	6	0	1	3	3	5	5	1	38
救 急	311	267	273	249	276	261	284	333	228	274	282	328	3,366
救 助	6	5	6	1	1	3	7	2	2	4	1	5	43
警 戒	8	5	3	4	2	4	7	6	7	6	9	9	70
合 計	329	279	284	260	285	268	299	344	240	289	297	343	3,517

月別指令件数



ドクターヘリ要請件数

(平成28年中)

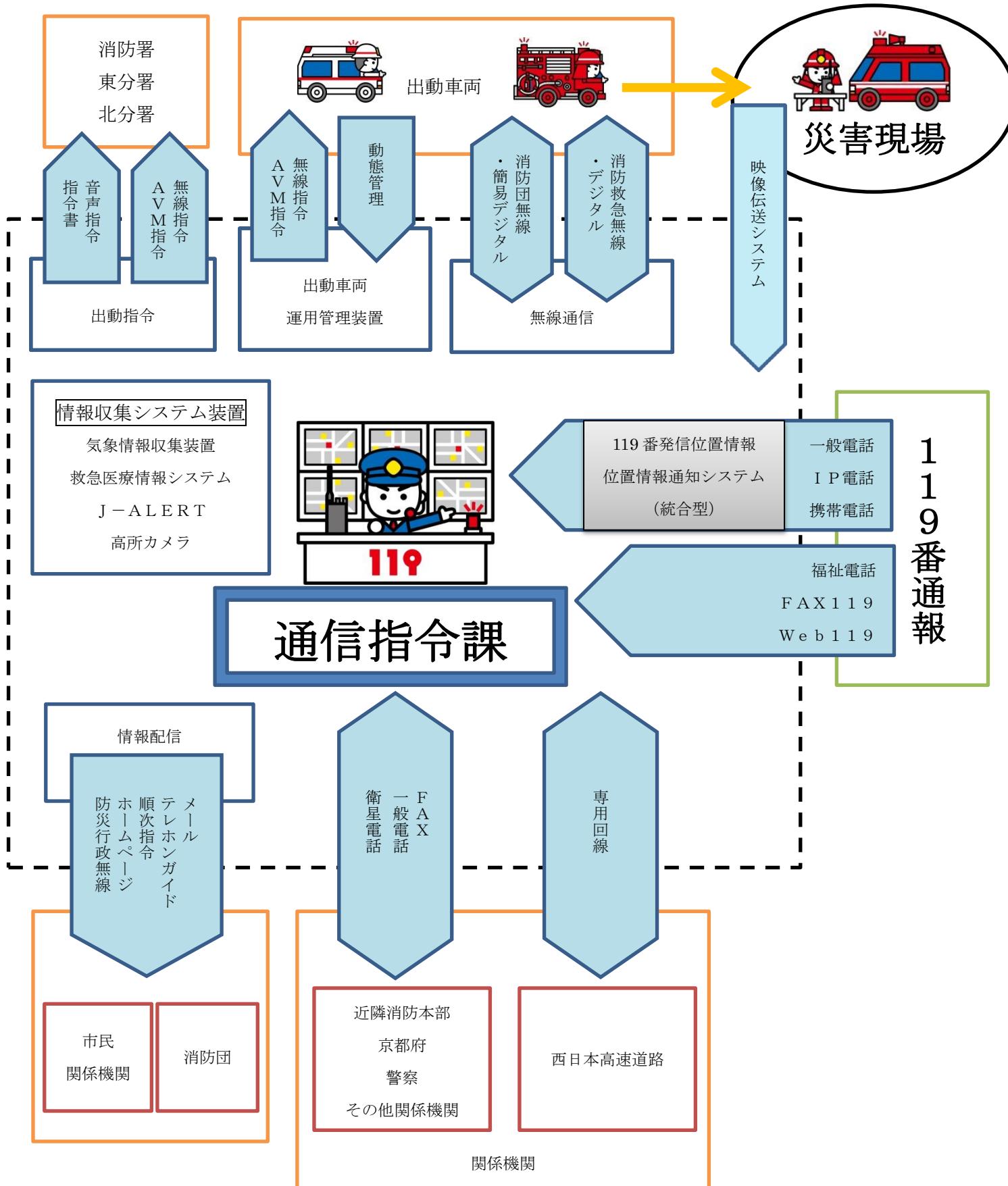
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	0	1	0	3	1	2	2	1	1	1	3	4	19

消防通信施設の現況

(平成29年4月1日)

名称	数	備考
通報受付回線		
119番回線数（固定・IP）	2回線	I S D N回線
119番回線数（携帯）	2回線	I S D N回線
衛星回線（119迂回回線）	2回線	
I P - V P N回線	2回線	位置情報通知システム用
携帯転送用	1回線	I S D N回線
西日本高速道路（舞鶴若狭自動車道）	1回線	専用回線
情報連絡回線		
順次指令回線	3回線	アナログ回線 I S D N回線 計3回線
災害状況等自動案内	6回線	
携帯電話	12台	
消防救急無線		
基地局	4局	鳥ヶ岳基地局、三和基地局、夜久野基地局 三岳基地局
使用無線波（デジタル無線）	6波	活動波1・2 主運用波 統制波1・2・3
消防団無線		
基地局・中継局	5局	消防防災センター基地局、三和基地局、夜久野基地局 大江基地局、夜久野中継局（簡易デジタル無線）
指令システム主要装置		
指令台	2台	
指揮台	1台	
表示盤	1式	55インチ液晶ディスプレイ 12面
無線統制台	1台	
署所施設	3式	署所端末、指令情報出力装置及び署所端末用受令機
気象情報収集装置	1式	
災害状況等自動案内	1台	
順次指令装置	1式	
出動車両運用管理装置 (1) 経路検索装置 (2) 車両運用端末装置	1式 20式	車外設定端末装置は10式
位置情報通知システム	1式	統合型
W e b 1 1 9 受信装置	1式	
F A X 1 1 9 受信装置	1式	
高所監視カメラ	2式	
映像伝送システム	1式	車載2 可搬3 ハンディ3
Eメール指令装置	1式	
ホームページ	1式	災害出動情報を自動連動して掲載
情報共有表示盤	7式	50インチ液晶ディスプレイ
消防O A	14台	W e b サーバ方式
防災行政無線等集中制御装置	1式	防災行政無線接続・連動用
総合行政情報システム接続装置	1式	
その他のシステム		
防災行政無線	1式	遠隔制御卓・可搬型
京都府医療情報端末装置	1式	タブレット端末
豊富用水監視システム	1式	
京都府衛星電話	1台	
J - A L E R T	1式	

消防通信指令系統図



【消防団】

消防団の沿革

(平成 29 年 4 月 1 日)

○昭和 22 年 11 月 1 日	消防団令の制定交付により警防団を廃止。福知山市消防団が結成される 団長 吉田庄兵衛 就任 【消防団の勢力】6 分団（惇明・昭和・大正・雀部・庵我・修斎） 団員 697 名、ポンプ車 6 台、手引ガソリンポンプ 12 台
○昭和 23 年 8 月 12 日	団長 石坪一久 就任
○昭和 24 年 4 月 1 日	3 村合併（西中筋村・下川口村・上豊富村）により 9 分団となり、消防団定員 1,000 人、実員 1,123 人となる。 ポンプ車 5 台、ガソリンポンプ 21 台、腕用ポンプ 45 台の消防力となる 惇明・昭和分団が統合し、中央分団と名称を変更 消防団定員 1,000 人、実員 1,053 人
〃 10 月 1 日	
○昭和 30 年 4 月 1 日	8 村合併（上六人部村・中六人部村・下六人部村・上川口村・金谷村・三岳村・金山村・雲原村）により、分団数 16、消防団員定数及び実員 1,850 人、ポンプ車 7 台、手引ポンプ 45 台、可搬動力ポンプ 18 台、腕用ポンプ 60 台の消防力となる 団長 足立秀夫 就任 上豊分団が京都府知事表彰調査を受検し、12 月 22 日に表彰旗を授与された
〃 4 月 6 日	
〃 9 月 30 日	
○昭和 31 年 9 月 30 日	何鹿郡佐賀村が、福知山市と綾部市に分村合併 【消防団の管轄区域】面積 264.24k m ² 、人口 63,220 人 【消防団の勢力】17 分団、定員 1,780 人、実員 1,775 人 ポンプ車 8 台、手引ポンプ 43 台、可搬ポンプ 23 台、腕用ポンプ 60 台
○昭和 33 年 3 月 7 日	自治体消防発足 10 周年記念式典並びに大火想定演習を市街地で実施
〃 7 月 1 日	団長 藤原定治 就任
○昭和 35 年 11 月 20 日	上川分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12 月 1 日表彰旗を授与された
○昭和 37 年 1 月 6 日	上六分団、中六分団、金山分団に婦人消防隊が結成される
〃 4 月 8 日	金谷分団に婦人消防隊が結成される
○昭和 38 年 4 月 1 日	団長 今川武左エ門 就任
○昭和 40 年 10 月 1 日	消防団員条例定数 1,400 人、実員 1,388 人
○昭和 42 年 4 月 1 日	団長 芦田太郎 就任
○昭和 44 年 4 月 1 日	【消防団の勢力】17 分団、定員 1,400 人、実員 1,359 人 消防ポンプ自動車 9 台、手引ポンプ 8 台、小型動力ポンプ 65 台
○昭和 45 年 7 月 3 日	消防団の機動化と近代化のため、小型動力ポンプ付積載車の配置を開始
〃 10 月 5 日	西中分団、修斎分団、上六分団へ各 1 台配置 下川分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12 月 1 日表彰旗を授与された
○昭和 46 年 11 月 1 日	下川婦人消防隊結成、隊員 47 名
○昭和 48 年 4 月 1 日	団長 森下文男 就任

○昭和 51 年 4 月 1 日 " 6 月 14 日	団長 大槻増次 就任 消防団本部を市役所庁舎へ移す（住所 福知山市字内記 13 番地の 1）												
○昭和 53 年 8 月 22 日	京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場し準優勝の成績を収める												
○昭和 54 年 3 月 5 日 " 4 月 1 日	福知山市消防本部、消防団に災害の防除と消防力の強化に努め、成績優秀であるという理由で消防庁長官の竿頭綬を授与された 福知山市消防団互助会制度を発足、弔慰金、見舞金の給付制度を設ける												
○昭和 55 年 11 月 9 日	庵我分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、12 月 1 日に表彰旗を授与された												
○昭和 56 年 4 月 1 日	団長 高橋昭治 就任												
○昭和 57 年 10 月 31 日	西中分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 58 年 1 月 1 日表彰旗が授与された												
○昭和 60 年 5 月 30 日 " 8 月 8 日 " 10 月 6 日	消防団本部の円滑な運営と各分団の消防技術の向上を図るため、消防団本部要員制度を設ける 日本消防協会から小型動力ポンプ付積載車の寄贈を受け、西中分団へ配置 消防庁長官表彰を受検 於 市民第 2 グラウンド <table> <tbody> <tr> <td>人 員 消防職員</td> <td>85 名</td> </tr> <tr> <td> 消防団員</td> <td>1,348 名</td> </tr> <tr> <td> 婦人消防隊</td> <td>40 名</td> </tr> <tr> <td>車両 ポンプ車</td> <td>10 台</td> </tr> <tr> <td> 積載車</td> <td>36 台</td> </tr> <tr> <td> 小型動力ポンプ</td> <td>34 台</td> </tr> </tbody> </table>	人 員 消防職員	85 名	消防団員	1,348 名	婦人消防隊	40 名	車両 ポンプ車	10 台	積載車	36 台	小型動力ポンプ	34 台
人 員 消防職員	85 名												
消防団員	1,348 名												
婦人消防隊	40 名												
車両 ポンプ車	10 台												
積載車	36 台												
小型動力ポンプ	34 台												
○昭和 61 年 3 月 " 5 月 1 日 " 9 月 28 日	消防庁長官表彰受賞 団長 吉竹 孝一郎 就任 雀部分団京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 62 年 1 月 1 日表彰旗が授与された												
○昭和 62 年 10 月 1 日	下六分団京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 63 年 1 月 1 日に表彰旗が授与された												
○昭和 63 年 10 月 13 日 ~19 日 " 10 月 26 日 " 10 月 30 日	京都国体警備。内福知山市分 16~19 日 金谷婦人消防隊が全国婦人消防操法大会（横浜市）出場 大正分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、昭和 64 年 1 月 1 日に表彰旗が授与された												
○平成 元年 10 月 15 日	上六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 2 年 1 月 1 日表彰旗が授与された												
○平成 2 年 5 月 1 日 " 10 月 21 日	団長 関 宏躬 就任 修齊分団と金谷分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 3 年 1 月 1 日表彰旗が授与された												
○平成 3 年 4 月 1 日 " 10 月 13 日	消防団員条例定数 1,250 人、実員 1,214 人となる 三岳分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 4 年 1 月 1 日表彰旗が授与された												

○平成 4年 8月31日 " 11月1日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に下六分団が出場し、第6位の成績を収める 佐賀分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成5年1月1日表彰旗が授与された
○平成 5年 10月31日	中六分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成6年1月1日表彰旗が授与された
○平成 6年 5月1日 " 8月30日 " 10月30日	団長 衣川 武 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、準優勝の成績を収める 雲原分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成7年1月1日表彰旗が授与された
○平成 7年 11月12日	金山分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成8年1月1日表彰旗が授与された
○平成 8年 7月1日 " 7月25日 " 10月13日	消防団員アルミックス防火衣を129着分支給 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団が出場し、奨励賞の成績を収める 中央分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成9年1月1日表彰旗が授与された
○平成 9年 9月1日 " 10月12日	消防団員アルミックス防火衣を185着分支給 市制60周年（団発足50周年）記念事業（消防フェア福知山）開催
○平成 10年 8月7日 " 12月10日 ~21日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に大正分団が出場 消防団に関する意識調査実施
○平成 11年 7月1日 " 9月9日	福知山市消防団活性化対策検討委員会規約制定 「より魅力ある消防団へ」検討委員会発足
○平成 12年 5月1日 " 8月6日 " 11月23日	団長 井上重典 就任 京都府消防操法大会小型ポンプの部に金谷分団が出場し、第5位の成績を収める アポロキヤップを購入し、全団員に貸与
○平成 13年 10月1日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」福知山消防カラーガード隊17人、福知山消防ファイガード隊13人で発足
○平成 14年 1月24日 " 5月1日 " 8月4日 " 10月27日	「ふくちやまファイヤーエンジェルス」京都府知事を表敬訪問 団長 野田和則 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に雲原分団が出場 京都府知事優良消防団表彰調査を受検し平成15年2月2日に表彰旗が授与された
○平成 15年 11月20日	自治体消防55周年記念大会参加
○平成 16年 5月1日 " 8月1日	団長 岸田正一 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に庵我分団が出場
○平成 18年 1月1日	一市三町合併により、三和町消防団、夜久野町消防団及び大江町消防団を統合、新しい「福知山市消防団」となる
【消防団の勢力】 団長 岸田正一 団本部ほか29分団、定員2,160人、実員2,065人	

	<p>消防ポンプ自動車 12台 小型動力ポンプ付積載車 11台 小型動力ポンプ付軽積載車 77台 小型動力ポンプ 89台</p>
○平成 18 年 8 月 6 日	京都府消防操法大会小型ポンプの部に、大正・川合・上夜久野・河西分団が出場
○平成 19 年 10 月 14 日	市制施行 70 周年、福知山市消防団発足 60 周年及び救急業務運用開始 40 周年記念事業（消防防災フェア）開催 活動服を更新し、消防防災フェアで着用
○平成 20 年 4 月 1 日 " 7 月 27 日	団長 足立秀幸 就任 京都府消防操法大会小型ポンプの部に、佐賀分団が出場
○平成 22 年 4 月 1 日 " 7 月 1 日 " 8 月 1 日 " 9 月 18 日	団長 山田浩和 就任 三和支所、夜久野支所、大江支所に支所消防隊を設置 京都府消防操法大会小型ポンプの部に、河守分団が出場 総務省消防庁より雲原分団に救助資機材搭載型車両（多機能型消防車両）の無償貸与を受ける
○平成 24 年 3 月 21 日 " 5 月 1 日 " 8 月 5 日	「新 福知山市消防団活性化計画」を策定 消防団本部を福知山市東羽合町 46 番地の 1 「福知山市消防防災センター」に移す 京都府消防操法大会ポンプ車の部及び小型ポンプの部に、大正分団が出場
○平成 25 年 4 月 1 日 " 10 月 20 日 " 11 月 25 日	金山分団及び川合分団に機能別消防団員が発足 細見分団が京都府消防協会長優良消防団表彰調査を受検し、平成 26 年 1 月 1 日表彰旗が授与された 消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念大会参加
○平成 26 年 2 月 9 日 " 2 月 15 日 " 3 月 4 日 " 4 月 1 日 " 8 月 3 日	京都府知事から、消防団 120 年・自治体消防制度 65 周年記念知事表彰が授与された 総務省消防庁より河守分団に消防ポンプ付き軽自動車両（多機能型消防車両）の無償貸与を受ける 総務省消防庁より消防団拠点資材等セット一式の無償貸与を受ける 団長 塩見辰也 就任 三岳分団に機能別消防団員が発足 京都府消防操法大会ポンプ車の部に上川分団、小型ポンプの部に河守上分団が出場し、上川分団が第 3 位の成績を収める
○平成 27 年 4 月 1 日 " 11 月 25 日	消防団簡易デジタル無線運用開始 平成 26 年 8 月豪雨災害時の水防活動が評価され、国土交通大臣より水防功労者表彰が授与された
○平成 28 年 4 月 1 日 " 7 月 31 日 " 9 月 12 日	団長 片岡幸基 就任 京都府消防操法大会ポンプ車の部に細見分団、小型ポンプの部に佐賀分団が出場 平成 26 年 8 月豪雨災害時の水防活動が評価され、内閣総理大臣より防災功労者表彰が授与された

消防団員・消防団車両配置表

(平成29年4月1日)

		人 員										車両等				
ブロック	分団名	合計	団長	※副団長	分団長	副分団長	本部長	指導部長	本部班長	部長	班長	団員	ポンプ車	積載車	軽積載車	小型ポンプ
	団本部	7	1	6												
ファイヤー エンジェルス	ファイヤーガード隊	7								1	1	5				
	カラーガード隊	9								1	1	7				
中部	中央	74		1	1	1	1	1	2	6	12	50	6			
	大正	43			1	1	1	1	1	3	6	29	3			
	庵我	73			1	1	1	1	1	3	7	58	3			
	修賀	96			1	1	1	1	1	4	11	76	4	1		
	上豊	96			1	1	1	1	1	3	7	81	3			
東部	雀部	54		1	1	1	1	1	1	3	3	43	3			
	西中	82			1	1	1	1	1	3	5	69	4	1		
	上六	51			1	1	1	1	1	3	6	37	3			
	中六	53			1	1	1	1	1	3	6	39	3			
	下六	70			1	1	1	1	1	4	5	56	4	1		
	佐賀	48			1	1	1	1	1	2	4	37	2			
北部	下川	50		1	1	1	1	1	1	3	6	36	3			
	上川	58			1	1	1	1	1	2	6	45	3			
	金谷	58			1	1	1	1	1	2	6	45	2			
	三岳	40			1	1	1	1	1	2	6	27	2			
	機能別消防団	13										13				
	金山	42			1	1	1	1	1	3	6	28	3			
	機能別消防団	20										20				
	雲原	42			1	1	1	1	1	2	3	32	2			
三和	菟原	85		1	1	1	1	1	1	4	4	72	4			
	細見	95			1	1	1	1	1	5	6	79	1	4		
	川合	28			1	1	1	1	1	3	3	17	3			
	機能別消防団	16										16				
	三和支所消防隊	7										7	1			
夜久野	上夜久野	81		1	1	1	1	1	1	4	9	63	1	4	1	
	中夜久野	50			1	1	1	1	1	3	6	36	3		1	
	下夜久野	64			1	1	1	1	1	3	6	50	3			
	夜久野支所消防隊	4										4				
大江	河守	79		1	1	1	1	1	1	4	10	60	2	2		
	河守上	62			1	1	1	1	1	4	6	47	1	2		
	河西	41			1	1	1	1	1	2	4	30	1	1		
	河東	52			1	1	1	1	1	2	6	39	1	1		
	有路上	53			1	1	1	1	1	2	4	42	2			
	有路下	44			1	1	1	1	1	2	5	32	1	1		
	大江支所消防隊	8										8	1			
合計		1,855	1	6	29	29	29	29	30	91	176	1,435	2	84	11	1

※ 団本部の副団長は、各ブロックを担当

年齢別消防団員数

(平成29年4月1日)

年齢別	合 計	平 均	20歳未満	20歳以上 30歳未満	30歳以上 40歳未満	40歳以上 50歳未満	50歳以上 60歳未満	60歳以上
人員	1,855	41.6	1	132	592	858	227	45

在職年数別消防団員数

(平成29年4月1日)

年数別	合 計	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上
人員	1,855	372	403	335	368	192	125	60

(水 防)

水防の概要

第1 市域を流れる河川

市域を流れる河川で、国、府および市が管理する河川（普通河川）は次のとおりです。

		(平成24年4月1日現在)
国が管轄するもの（1級河川）	2河川	旧夜久野 78河川
府が管轄するもの（1級河川）	49河川	旧大江 64河川
市が管轄するもの（準用、普通河川）	379河川	旧三和 91河川
延	430河川	旧福知山 146河川
		延 379河川

第2 由良川水系の現況

由良川は、京都、滋賀および福井の府県境三国ヶ岳に源を発し、北桑田の山間部、福知山を経て日本海に注ぐ河川で、高屋川、上林川および土師川と合流し、その流域面積は京都府と兵庫県にまたがり、1,880 km²におよびます。由良川水系の治水と利用についての意義は、丹波と丹後地区においてきわめて大きくなっています。

第3 現状の課題と方針

由良川の改修事業は、昭和22年に国の直轄事業として着手されて以来進められ、平成16年の台風23号を契機とした「由良川下流部緊急水防災対策事業」が平成27年度末に完了する一方、平成25年の台風18号を契機とした「由良川緊急治水対策事業」や平成26年の8月豪雨をふまえた「総合的な治水対策」の早期実施による、水害に強い地域づくりの更なる推進が課題となっています。

特に「総合的な治水対策」として国土交通省、京都府および福知山市が設立した「由良川流域（福知山市域）における総合的な治水対策協議会」では、内水氾濫の被害をふまえ河川管理者と下水道管理者が一体となって総合的な治水対策案を取りまとめ、平成27年度に内水ハザードマップの作成（福知山市）を完了するとともに、今後も引き続き排水機場の整備や排水ポンプ車ピット新設（国土交通省）、調節地の整備や河川改修（京都府）、雨水貯留施設の整備や各家庭への貯留浸透施設の設置促進など、各機関が連携して総合内水対策を実施することとしています。

第4 水害の特徴

福知山市における水害として、由良川などの破堤や溢流による外水氾濫と、由良川などへの内水排除ができない場合に生じる内水氾濫があります。

福知山市が位置する福知山盆地の標高は非常に低く、由良川と牧川の合流点付近では標高12mに過ぎません。したがって、由良川などの堤防が決壊した場合には、市街

地全域にわたる広い範囲で外水による浸水被害が生じる危険があります。このような破堤による外水氾濫では、水位が急激に上昇するため人的被害および建物被害などが生じる危険性が高く、さらに水位が下がるまでに長時間を要し、破堤箇所が修復されるまで再度浸水する危険にさらされるなど、被害の拡大と長期化が予想されます。

一方、内水氾濫の被害が起こりうるのは、河川の氾濫などでできた低地地形や周囲から水が集まりやすい凹地などです。すなわち低地の微地形でいうと、谷底平野、氾濫平野、後背湿地および旧河道などです。このような地形では、雨水が集まりやすく水害の危険性は最も高くなります。

第5 近年の水害の記録

平成16年の台風23号では、総雨量279mm由良川水位も最高水位7m55cmを記録、さらに平成25年の台風18号では、総雨量216mm、由良川最高水位8m30cmを記録、由良川流域の広範囲において浸水し、家屋、耕地および主要道路の浸水などの被害が多く出るとともに、山間部においては崖崩れが生じました。

平成26年8月16日から17日にかけて局地的な大雨に見舞われ、福知山市で24時間雨量が300mmを超え、平年の8月の1か月雨量の約2.5倍に達し、由良川では一時的に氾濫危険水位を超過しました。また、内水氾濫により市街地を中心に広い範囲で冠水し、約4,500戸（平成27年3月20日時点）が浸水するとともに、土砂災害も多く発生しました。福知山市は、市の全域約8万人に避難勧告を発表し、陸上自衛隊も救援に出動しました。さらにこの大雨によって、JR福知山線と山陰線が寸断されるなど、社会的影響度も非常に大きなものとなりました。

【主な水害の記録】

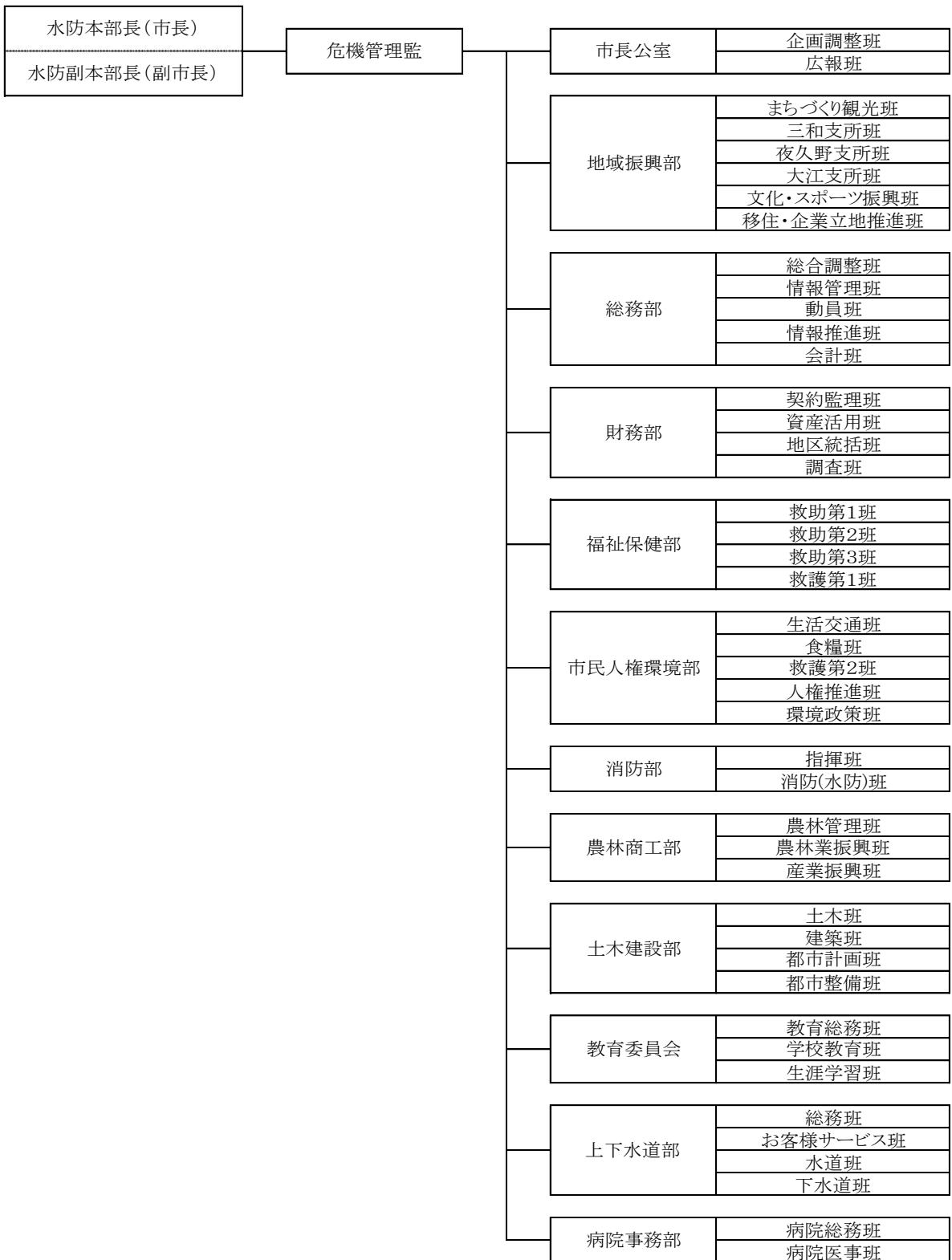
明治 29 年 8 月 31 日	水 位 7.88m 死傷者 200 名 倒壊流失家屋 371 戸
明治 40 年 8 月 26 日	水 位 8.48m 倒壊流失家屋 350 戸
大正 10 年 9 月 26 日	水 位 7.36m 死傷者 7 名 倒壊流失家屋 67 戸 浸水家屋 3,058 戸
昭和 5 年 8 月 1 日	水 位 7.12m 倒壊流失家屋 30 戸 浸水家屋 3,006 戸
昭和 20 年 10 月 9 日 (阿久根台風)	水 位 6.00m 死傷者 5 名 総雨量 95.0mm 倒壊流失家屋 111 戸 浸水家屋 5,083 戸
昭和 28 年 9 月 25 日 (台風 13 号)	水 位 8.10m 死傷者 792 名 総雨量 254.3mm 倒壊流失家屋 1,664 戸 浸水家屋 3,836 戸
昭和 34 年 9 月 26 日 (伊勢湾台風)	水 位 7.10m 負傷者 26 名 総雨量 243.0mm 倒壊流失家屋 113 戸 浸水家屋 5,117 戸

昭和 36 年 9 月 16 日 (第二室戸台風)	総雨量 43.0mm 死傷者 9 名 倒壊家屋 76 戸 浸水家屋 19 戸
平成 16 年 10 月 20 日 ～21 日 (台風 23 号)	水 位 7.55m 総雨量 279.0mm 倒壊家屋 (半壊、一部損壊) 63 戸 浸水家屋 844 戸
平成 25 年 9 月 16 日 (台風 18 号)	水 位 8.30m 総雨量 216.0mm 倒壊家屋 (全壊、半壊、一部損壊) 332 戸 浸水家屋 423 戸
平成 26 年 8 月 16 日 ～17 日 (8月豪雨)	水 位 6.48m 総雨量 216.0mm 倒壊家屋 (全壊、大規模半壊、半壊、一部損壊) 4,253 戸 浸水家屋 4,500 戸 死者 1名 負傷者 1名 【雨量・水位記録】 ■ 降り始めの8月15日2時から17日24時までの降水量 357.5mm ■ 日最大1時間降水量 17日午前4時30分 62.0mm ■ 解析雨量 17日午前2時30分 92.0mm ■ 1時間降水量が8月として1位を更新 (統計期間10年以上) 17日午前4時30分 62.0mm 統計開始1976年 ■ 24時間降水量が8月として1位を更新 (統計期間10年以上) 17日午前5時50分 303.5mm 統計開始1976年 ■ 48時間降水量が8月として1位を更新 (統計期間10年以上) 17日午後7時50分 341.0mm 統計開始1976年

水防組織

第1 水防本部の組織

- 1 水防本部は、市長を本部長、副市長を副本部長とし、組織は福知山市災害対策本部規程を準用し、水防本部組織図のとおりとする。
- 2 消防部は、消防本部および消防団本部をもって指揮班、消防署および消防団をもって消防（水防）班を編成し、各分団は水防中隊とする。
- 3 指揮班の任務
 - (1) 災害の予防対策
 - (2) 災害情報の収集
 - (3) 災害信号の発令および周知
 - (4) 被害状況の速報
 - (5) 市防災無線の運用
 - (6) 災害の場合における消防団活動の調整および指示
- 4 消防（水防）班の任務
 - (1) 災害の場合における消防団活動の調整および指示
 - (2) 避難者の誘導
 - (3) 人命および財産の保護
 - (4) 不明者の捜索
 - (5) 水防作業員資材および避難者の輸送運搬
 - (6) 水防資材の整備および調査
 - (7) 消防資材および施設の整備点検



平成28年版 消 防 年 報

〒620-0933 京都府福知山市東羽合町 46 番地の 1
福知山市消防本部

TEL 0773-24-0119 / FAX 0773-22-5458

URL <http://119.city.fukuchiyama.kyoto.jp/>

e-mail syoubou@city.fukuchiyama.lg.jp

携帯サイト <http://119.city.fukuchiyama.kyoto.jp/m/>

携帯サイト
QR コード

